Panasonic®

操作マニュアル

パーソナルコンピューター

品番 CF-19シリーズ

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

お知らせ

- 繰り返し連続して押さないでください。
- フラットパッド、外部マウス、タッチパネル、タブレットボタンなどを操作しながら押さないでください。
- Windowsにログオンするまで、操作を行わないでください。ハードディスク状態表示ランプ が消灯するまでお待ちください。セットアップユーティリティの画面では、Fn+F1、Fn+F2、Fn+F3のキー操作のみ働きます。
- アプリケーションソフトによっては働かない場合があります。
- Windowsにログオンすると、ポップアップウィンドウが表示されます。ただし、アプリケーションソフトの状態によっては表示されない場合があります（[コマンドプロンプト]が全画面表示になっているときなど）。

キー	機能	ポップアップウィンドウ
Fn+F1*1 Fn+F2*1	**内部 LCD の輝度調整** （Fn+F1= 下げる ／ Fn+F2= 上げる）	
Fn+F3	**画面の表示先の切り替え**（➔48 ページ） （外部ディスプレイ接続時） 内部 LCD → 同時表示 → 外部ディスプレイ お願い ● 画面表示が切り替わるまで他のキーを押さないでください。 ● 次の場合はこの機能を使わないでください。 ・外部ディスプレイが接続されていないとき ・DVD-VideoやMPEGファイルなどの動画を再生しているとき ・拡張デスクトップモードを使用しているとき ・ピンボールなどのゲームを表示しているとき お知らせ ● Windowsが起動するまで（セットアップユーティリティなど）は、同時表示にすることができません。Fn+F3を押すと、外部ディスプレイまたは内部LCDに切り替わります。	ー

キー	機能	ポップアップウィンドウ
Fn+**F4**[*2]	音声出力のオン／オフ お知らせ ● 音声出力をオフにすると、ビープ音も鳴りません。[*3]	オフ（ミュート） オン
Fn+**F5**[*2] **Fn**+**F6**[*2]	音量調整 （**Fn**+**F5**= 下げる ／ **Fn**+**F6**= 上げる） お知らせ ● 音量を微調整するときは、 **Fn**を押したまま**F5**または**F6**を断続的に押してください。	
Fn+**F7**	スタンバイ状態に入る（➔14 ページ）	ー
Fn+**F8**	**Concealed Mode のオン／オフ** LCD バックライト、LED、サウンド[*3]、無線電波のオン／オフを選択することができます。 お知らせ ● セットアップユーティリティの「Concealed モード」を「有効」に設定しておく必要があります。（➔76ページ） ● セットアップユーティリティの「Concealed モード」で、どのデバイスをオフにするかを選択できます。（➔76ページ） ● **Fn**＋**F8**を連打すると、Concealed モードの切り替えができないことがあります。オン／ オフを切り替える際は、4秒以上間隔を空けてください。	―
Fn+**F9**	バッテリー残量確認	（➔23 ページ）
Fn+**F10**	休止状態に入る （➔14 ページ）	ー

[*1] 「Concealed Mode 設定」で「LCD バックライト」が「オフ」に設定されている場合は、これらの組み合わせは無効です。
[*2] 「Concealed Mode 設定」で「サウンド」が「オフ」に設定されている場合は、これらの組み合わせは無効です。
[*3] 「Concealed Mode 設定」で「サウンド」を「オフ」に設定しても、画面右下のタスクトレイ の や、[デバイスの音量] の表示はミュート状態にはなりません。ただし、スピーカーから音は出ません。

Hotkey設定

次の 2 つの設定をすることができます。

- **Fn キーロック**
  Fn を押した後、他のキーを押すまで、 **Fn** が押された状態（ロック状態）になります。キーの組み合わせが押しにくい場合に便利です。
- **ポップアップウィンドウの表示／非表示**

1 **Hotkey設定プログラムを起動する。**
[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Hotkey設定]をクリックする。

2 **各項目を設定する。**
[Fnキーをロックする]

- **Fn** を 1 回だけ押す場合

① **Fn** を1回押す。（ロック状態）
② 組み合わせる他のキーを押す。（ロック状態解除）

- **Fn** を連続して使う場合

① **Fn** を2回押す。（ロック状態）
② 組み合わせる他のキーを押す。（再度**Fn** を押すまでロック状態のままです。）

[通知方法]
[Fnキーが押されたときに音を鳴らす][*4]
[Fnキーの状態を画面に表示する]：**Fn**の状態を画面右下のタスクトレイに表示します。

- Fn: **Fn** ロック状態
- Fn: **Fn** ロック解除

[ポップアップを表示しない]
ポップアップウィンドウが表示されなくなります。

3 **[OK]をクリックする。**

お知らせ

- Hotkey設定は、ユーザーごとに設定できます。

[*4] スピーカーがミュート状態になっていたり、「Concealed Mode 設定」で「サウンド」を「オフ」に設定していたりする場合は、ビープ音は鳴りません。

ボタン	機能
▼ ☼ ▲	**LCD の輝度調整** ▼: 上げる ／ ▲: 下げる
	入力パネル <Windows XP Professional のみ > ソフトウェアキーボードの起動／終了 （➔8 ページ） <Windows XP Tablet PC Edition のみ > Tablet PC 入力パネルの起動／終了 ● ようこそ画面では使えません。
	Enter Enter と同じ働きをします。
	回転 画面が回転します。（➔11 ページ） ● 画面の回転が完全に終わるまで、再度回転ボタンを押さないでください。
	セキュリティ <Windows XP Professional のみ > パソコンをロックします。 ● Windowsのログオン画面またはようこそ画面では、 Ctrl + Alt + Delと同じ働きをします。 ● スクリーンセーバー動作中は使えません。 <Windows XP Tablet PC Edition のみ > Ctrl + Alt + Del と同じ働きをします。

お知らせ

- タブレットボタンは、Windowsの画面が表示されているときに働きます。
- Windowsが起動した直後や、Windowsのログオン画面（またはようこそ画面）が表示された直後は、タブレットボタンが働かない場合があります。

<Windows XP Professional のみ >

- スクリーンセーバー解除時にパスワード入力画面が表示される設定になっている場合、スクリーンセーバー動作中は、入力パネルボタン、Enterボタン、回転ボタンは働きません。

タブレットボタンの設定

お知らせ

- タブレットボタンはユーザーごとに設定できます。
- Windowsのログオン画面またはようこそ画面では、タブレットボタンは初期設定で動作します。

■ 設定を変更する

入力パネルボタン、Enter ボタン、および回転ボタンに、次のような機能を割り当てることができます。

1 設定画面を開く。

<Windows XP Professionalのみ>
[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [タブレットボタンの設定]をクリックする。
<Windows XP Tablet PC Editionのみ>
[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [タブレットとペンの設定] - [タブレットのボタン]をクリックする。

2 変更したいボタンを選んで[変更]をクリックする。

3 選択したボタンに設定したい動作を[動作]リストから選ぶ。

- [キー / キーの組み合わせを押す] を選んだ場合、Fn を割り当てることはできません。
- 「アプリケーションの起動」を選んだ場合は、[参照] をクリックして起動したいアプリケーションを選んでください。

4 [OK]をクリックする。

5 [OK]をクリックする。

<Windows XP Professional のみ >

■ タブレットボタンを無効にする

セキュリティボタン、入力パネルボタン、Enter ボタン、および回転ボタンは、下記の手順で無効にできます。

1 [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [タブレットボタンの設定]をクリックする。

2 [セキュリティ、入力パネル、Enter 、回転ボタンを有効にする]のチェックマークを外す。

3 [OK]をクリックする。

タッチパネル

タッチパネル機能を使って、フラットパッドやマウスと同様の操作ができます。付属のスタイラスペンで画面の表面に触れてください。

- **右クリックするには**

  ① 画面右下のタスクトレイの をクリックする。
  が に変わります。
  ② 右クリックする対象をクリックする。
  が に戻ります。

お知らせ

- 手などで画面に触れないようにしてください。正しく入力できない場合があります。
- ユーザーごとに次の設定をしてください。
  ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Fujitsu Touch Panel (USB)] - [タッチパネルの設定]をクリックする。
  ② 必要な設定をして、[OK]をクリックする。
  • [カーソルを表示しない。]にはチェックマークを付けないでください。画面が乱れる場合があります。
- [タッチパネルの設定]の[[Ctrl] キーを押しながらタッチ]の[つかう]にチェックマークを付けた場合、画面に触れるとすべて右クリックになる場合があります。通常の操作に戻すには、キーボードの**Ctrl**を押してください。
- タッチパネル機能は、セットアップユーティリティ、[コマンドプロンプト] の全画面表示では使えません。

タッチパネルの補正（キャリブレーション）

1 **[補正ツール]を起動する。**
[スタート] - [すべてのプログラム] - [Fujitsu Touch Panel (USB)] - [補正ツール]をクリックする。

2 **画面上の12か所に順番に“+”が表示されるので、スタイラスペンを使って点滅するまで1つずつ触れた後、Enterを押す。**

3 **Enterを押す。**

お知らせ

- タッチパネルの補正（キャリブレーション）を実行する前に、画面を回転している場合には[0度]に戻してください。（➔11ページ）
- ユーザーごとにタッチパネルの補正（キャリブレーション）を実行してください。

ソフトウェアキーボード

<Windows XP Professional のみ >

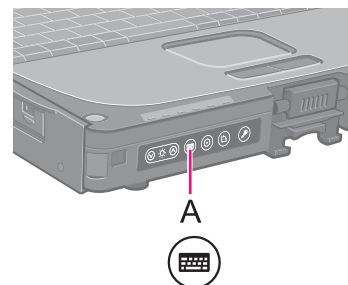
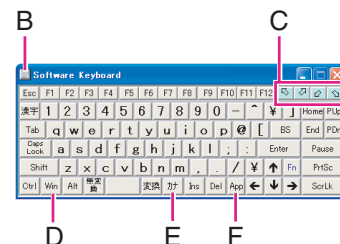
ソフトウェアキーボードの画面上を付属のスタイラスペンで軽く触れると、内部キーボードと同じ操作ができます。

ソフトウェアキーボードを使う

1　入力パネルボタン (A)を押す。

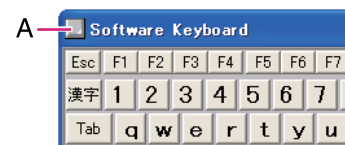
- または、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Software Keyboard]をクリックする。

2　スタイラスペンでソフトウェアキーボードに触れる。

- ショートカットキーを使うには
  例 : **Ctrl** + **C**
  Ctrl を押した後（青色に変わる)、**C** を押します。
- ソフトウェアキーボードを閉じるには、再度入力パネルボタンを押してください。

B. システムメニューが表示されます。(➔9ページ)
C. 画面の四隅に移動します
D. 1回タップ：ショートカットキーと同じ働きをします。
　 2回タップ：と同じ働きをします。
E. カナ／ローマ字入力を切り替えます。
F. マウスの右クリックと同じ働きをします。（キーと同じ）

お知らせ

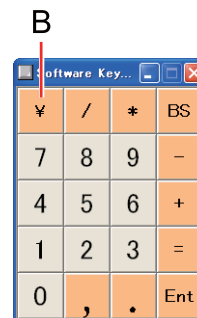
- ショートカットキーを使う場合は、内部キーボードかソフトウェアキーボードのどちらかを使用してください。
- **Ctrl**+ **Alt** + **Del**はソフトウェアキーボードでは入力できません。（Windowsのログオン時を除く）
- Windowsログオン画面やようこそ画面では、 **Fn**キーは働きません。
- Windowsの終了処理が行われている間は、ソフトウェアキーボードが働かないことがあります。
- [コマンドプロンプト]画面が全画面表示になっている場合は、ソフトウェアキーボードで入力できません。
- ひらがな入力、カタカナ入力などは、お使いのかな漢字変換システムのパネル操作で行ってください。
- ターミナルサーバーのクライアントとして使用すると、サーバーとクライアントの「カナ」モードの動作が異なる場合があります。この場合はソフトウェアキーボードのサイズを中または大にしてください。

ソフトウェアキーボードのメニュー

1 **(A)をクリックする。**

2 **使いたい機能にチェックマークを付ける。**

- **[自動移動]**
  選択されているウィンドウを隠さないように、ソフトウェアキーボードが自動的に移動します。（移動可能な場所がない場合は移動しません。）また、文字入力が可能な状態になると、ソフトウェアキーボードが最前面に移動します。
- **[自動復元]**
  ソフトウェアキーボードが画面右下のタスクトレイに最小化されている場合、文字入力が可能な状態になると、ソフトウェアキーボードが自動的に復元され、最前面に表示されます。（アプリケーションによっては、自動的に復元しない場合もあります。）
- **[常に最前面表示]**
  ソフトウェアキーボードを常に最前面に表示するかどうかを設定します。
- **[半透明]**
  ソフトウェアキーボードを半透明表示にします。
- **[大]/[中]/[小]**
  ソフトウェアキーボードのサイズを選びます。
- **[テンキー（大）]/[テンキー（中）]/[テンキー（小）]**
  テンキーボードのサイズを選びます。

お知らせ

- テンキーボードで表示される通貨記号（B）を変更することができます。
  [スタート] - [コントロールパネル] - [日付、時刻、地域と言語のオプション] - [地域と言語のオプション] - [地域オプション] - [カスタマイズ] - [通貨] - [通貨記号]
  - 通貨記号の変更後、上記 (A) をクリックしてテンキーボードのサイズを変更すると、選択された通貨記号が表示されます。

<Windows XP Professional のみ >
フラットパッドやタッチパネルに、サインなどの簡単な文字や図形を描いて、ビットマップ形式（.bmp）のファイルとして保存することができます。

お願い

- 「Panasonic手書き」を起動しているときは、ユーザーの簡易切り替え機能を使わないでください。
- 市販のポインティングデバイス（マウスなど）のドライバーをインストールして、フラットパッドのドライバーを上書きすると、「Panasonic手書き」は動作しません。

お知らせ

- ディスプレイの色数を変更すると、「Panasonic手書き」の画面が乱れることがあります。その場合は、画面右下のタスクトレイの をクリックして[Panasonic手書きの終了]をクリックした後、再度「Panasonic手書き」を起動してください。
- 他のアプリケーションソフトを同時に実行していると、「Panasonic手書き」で正しく描画できないことがあります。その場合は、他のアプリケーションソフトを閉じてください。

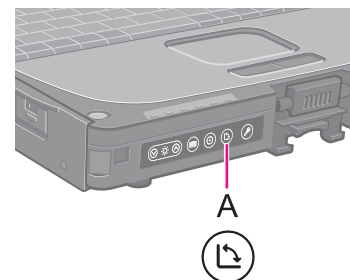
「Panasonic手書き」を起動する

1　画面右下のタスクトレイの をダブルクリックする。
または、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [Panasonic手書き]をクリックする。

お知らせ

- 画像サイズの変更は、描画する前に[オプション] - [画面サイズの設定]で行ってください。描画した後でサイズを変更すると、画質が悪くなります。
- [編集] - [コピー]をクリックすると、ビットマップ画像をコピーして、他のビットマップ形式対応のアプリケーションソフトに貼り付けることができます。
- 拡張デスクトップモードを使用しているときは、フラットパッドモードが正しく働きません。
- 画面を90°または270°に回転させているときは、フラットパッドモードが正しく働きません。
- 次の場合はフラットパッドモードが終了します。
  - 他のアプリケーションソフトに切り替えたとき
  - スタンバイ状態または休止状態からリジュームしたとき
  - **Alt**を押したとき
  - タッチパネルに触れたとき

画面を回転させる

1 **回転ボタン (A)を押す。**
ボタンを押すたびに、反時計回りに90°回転します。

お知らせ

- 以下の方法でも、画面を回転させることができます。
  <Windows XP Professionalのみ>
  画面右下のタスクトレイの をダブルクリックする。
  <Windows XP Tablet PC Editionのみ>
  [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [タブレットとペンの設定] - [画面]をクリックする。
- 画面を回転させているとき:
  - 拡張デスクトップを使わないでください。フラットパッド、タッチパネルが正しく動作しないことがあります。
  - 画面の解像度を内部LCDの解像度より高く設定しないでください。
  - パソコンの性能が少し落ちます。
  - フラットパッドのスクロール、ズーム、データズーム機能は働きません。
  - タッチパネルの補正（キャリブレーション）を行わないでください。
- [コマンドプロンプト]を全画面表示にしている場合は、画面を回転させることはできません。

<Windows XP Professional のみ >

- 動画の再生中に画面を回転させると、画面が正しく表示されなかったり、音声が途切れたりすることがあります。
  画面を[0度]に戻すと正しく再生されます。
- 画面の解像度を800×600ドットに設定している場合に画面を回転させると、[画面のプロパティ]の[画面の解像度]に正しい解像度が表示されない場合があります。[画面の解像度]を変更せず、そのまま使用してください。

<Windows XP Tablet PC Edition のみ >

- 動画の再生中に画面を回転させると、画面が正しく表示されなかったり、音声が途切れたりすることがあります。
  画面を[横 (プライマリ)]に戻すと正しく再生されます。
- 画面の解像度を800×600ドットに設定している場合には、[横 (プライマリ)]と[横 (セカンダリ)]にのみ画面を回転させることができます。

設定を変更する

1 **画面右下のタスクトレイの をクリックして、[画面回転の設定]をクリックする。**

「Display Rotation Tool」画面が表示されます。

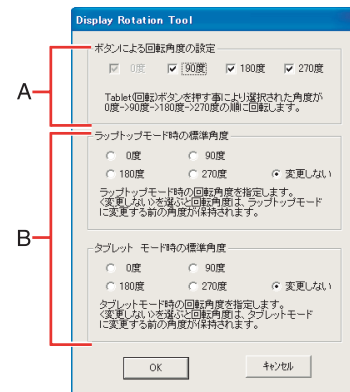
2 **設定を変更する。**

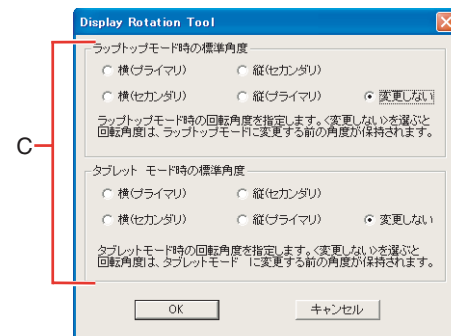
<Windows XP Professionalのみ>

A: チェックマークの付いている角度で順に回転します。使用しない角度（0度を除く）がある場合は、チェックマークを外してください。

B: 次の場合に、画面は自動的に標準角度になります。

- ラップトップモードからタブレットモードに、またはその逆に切り替えたとき
- Windows を起動したとき
- ユーザーの簡易切り替え機能で別のユーザーにログオンしたとき

<Windows XP Tablet PC Editionのみ>

C: 次の場合に、画面は自動的に標準角度になります。

- ラップトップモードからタブレットモードに、またはその逆に切り替えたとき
- Windows を起動したとき
- ユーザーの簡易切り替え機能で別のユーザーにログオンしたとき

3 **[OK]をクリックする。**

お知らせ

<Windows XP Tablet PC Edition のみ >

- 次の手順で、画面の向きが変更される順序を設定することができます。
  [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [タブレットとペンの設定] - [画面] - [変更]をクリックする。

スタンバイ・休止状態機能

「スタンバイ」や「休止状態」機能を使うと、アプリケーションソフトを閉じることなくパソコンの操作を終わることができます。操作を再開すると、スタンバイまたは休止状態に入る前に実行していたアプリケーションソフトやファイルにすばやく戻ることができます。

機能	状態の保存先	復帰するまでの時間	電力供給
スタンバイ	メモリー	短い	必要（スタンバイ中に電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。）
休止状態	ハードディスク	やや長い	不要（ただし、休止状態を維持するために若干の電力が消費されます。）

スタンバイ・休止状態の設定

1 **[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]をクリックする。**

2 **[ポータブルコンピュータを閉じたとき]／[コンピュータの電源ボタンを押したとき]で「スタンバイ」または「休止状態」を選び、[OK]をクリックする。**

お知らせ

- Windowsのメニューを使ってスタンバイまたは休止状態に入る場合は、この設定は不要です。

使用上のお願い

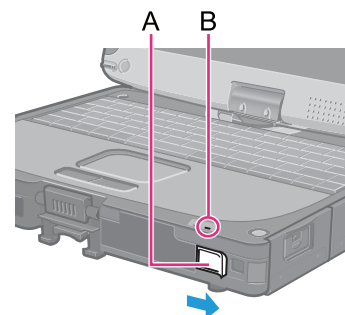
- 長時間スタンバイにしておく場合は、AC アダプターを接続してください。AC アダプターを接続できない場合は、スタンバイではなく休止状態にしてください。
- スタンバイまたは休止状態を繰り返すと、パソコンが正常に動作しなくなる場合があります。パソコンの動作を安定させるため、定期的に（1 週間に 1 回程度）スタンバイまたは休止状態機能を使わずに Windows を再起動してください。
- 大切なデータは保存してください。
- リムーバブルディスクやネットワークドライブから開いたファイルは閉じてください。
- リジューム（➔15 ページ）の際は、セットアップユーティリティで設定したパスワードは要求されません。スタンバイまたは休止状態のときのセキュリティには、Windows のパスワードをお使いください。
  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント]をクリックして、アカウントを選ぶ。
  ② [パスワードを作成する]をクリックし、パスワードを設定する。
  ③ [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [詳細設定]をクリックし、[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]にチェックマークを付ける。

- 下記の場合は、スタンバイ・休止状態に入らないでください。実行中のファイルやデータが壊れたり、スタンバイ・休止状態が働かなくなったり、パソコンおよび周辺機器が正常に動作しなくなることがあります。
  - ハードディスク状態表示ランプ またはSDメモリーカード状態表示ランプ の点灯中
  - オーディオファイルの録音・再生中や、MPEGファイルなどの動画の再生中
  - ディスクへの書き込み中
  - 通信ソフトやネットワーク機能を使用しているとき
  - PCカードの使用中
    （カードが正常に動かなくなったときは、パソコンを再起動してください。）
  - 外部マウスをシリアルコネクターに接続しているとき
- リジューム直後はスタンバイまたは休止状態に入りません。約1分間お待ちください。

スタンバイ・休止状態に入る／リジュームする

■ スタンバイ・休止状態に入る

1 ディスプレイを閉じるか、ビープ音[*1]が鳴るまで電源スイッチ（A）をスライドする。

- 電源状態表示ランプ（B）で状態を確認してください。
  スタンバイ状態：電源状態表示ランプが緑色に点滅する。
  休止状態：電源状態表示ランプが消える。
- Windowsのメニューを使ってスタンバイ・休止状態に入ることもできます。
  スタンバイ状態に入るには、[スタート] - [終了オプション] - [スタンバイ]をクリックしてください。休止状態に入るには、[スタート] - [終了オプション]をクリックし、 **Shift** を押したまま[休止状態]をクリックしてください。
- キーの組み合わせによる操作により、スタンバイ状態（**Fn**+**F7**）・休止状態（**Fn**+**F10**）に入ることもできます。

お願い

スタンバイ・休止状態処理中

- 次の操作をしないでください。
  - キーボード、フラットパッド、タッチパネル、タブレットボタン、電源スイッチに触れる
  - 外部マウスや周辺機器を使う
  - ACアダプターの接続や取り外し
  - ディスプレイの開閉
  電源状態表示ランプが緑に点滅（スタンバイ）または消灯（休止状態）するまでお待ちください。
- スタンバイ・休止状態に入るまで1～2分かかる場合があります。

- ビープ音[*1]が鳴ったら、すぐに電源スイッチを離してください。電源ボタンを4秒間以上スライドすると、パソコンが強制終了し、[コンピュータの電源ボタンを押したとき]を[シャットダウン]に設定していたとしても、保存されていないデータは失われます。（➔13ページ「スタンバイ・休止状態の設定」）

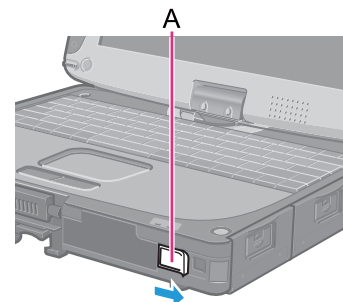
スタンバイ・休止状態のとき

- 周辺機器の接続・取り外しを行わないでください。誤動作の原因になります。
- スタンバイ状態では電力が消費されています。特に、PCカード挿入時は電力消費量が増えることがあります。電力の供給がなくなると、保持されていたデータが失われます。スタンバイ機能を使うときは、ACアダプターを接続してください。
- 無線切り替えスイッチの入／切をしないでください。

[*1] スピーカーがミュート状態になっていたり、「Concealed Mode 設定」で「サウンド」を「オフ」に設定していたりする場合は、ビープ音は鳴りません。

■ スタンバイまたは休止状態からリジュームする

1 ディスプレイを開けるか、電源スイッチ（A）をスライドする。

- [ポータブルコンピュータを閉じたとき]で[スタンバイ]または[休止状態]を選んだ場合（➔13 ページ）は、ディスプレイを開くとリジュームします。
  - ただし、タブレットモードのときはディスプレイを開けることはできません。

お願い

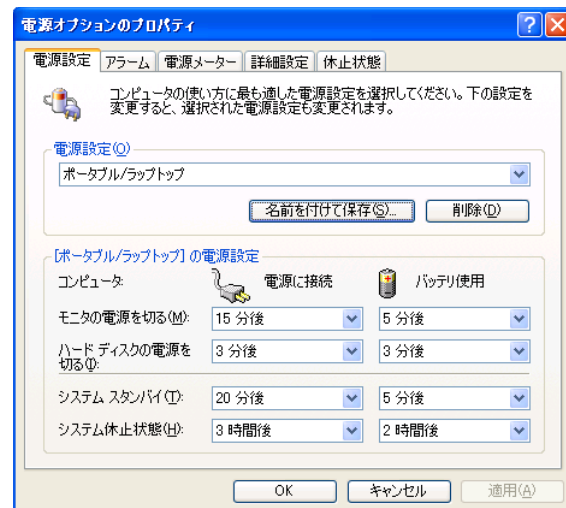
- リジュームが完了するまで、下記の操作をしないでください。画面表示のリジューム後、約30秒（通常）または60秒（ネットワーク接続しているとき）お待ちください。
  - キーボード（パスワードの入力以外）、フラットパッド、タッチパネル、タブレットボタン、電源スイッチに触れる
  - 外部マウスや周辺機器を使う
  - ACアダプターの接続や取り外し
  - ディスプレイの開閉
  - Windowsの終了または再起動
  - スタンバイまたは休止状態に入る
  - 無線切り替えスイッチの入／切

消費電力を節約する

バッテリーで使用する場合は、より長時間使えるようになります。また、AC アダプターを接続しているときでも省電力の効果があります。

無駄な電力を使わない

電源の設定を変更したり、画面の明るさを調整したりして、消費電力を節約することができます。

- **[電源設定] を変更する**
  [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] をクリックして、[電源設定] を [バッテリの最大利用] に設定します。
  工場出荷時は、[電源設定] を [ポータブル／ラップトップ] に設定していますが、[バッテリの最大利用] に変更することで、さらに消費電力が節約できます。
  さらに、[モニタの電源を切る] の時間を短くするなど、詳細に設定します。
- **省電力設定ユーティリティを使う**（➔17 ページ）
  省電力設定ユーティリティでは、[電源設定] とは別の省電力機能を設定することができます。
- **Fn + F1 で内部 LCD の明るさを暗くする**
  内部 LCD の明るさを下げることで、消費電力を抑えます。
- **使わないときはパソコンの電源を切る**
  無線 LAN の電源や Bluetooth、ワイヤレス WAN の電源を個別に切ることができます。
- **使わない周辺機器（USB 機器、PC カード、外部マウスなど）は取り外す**
- **スタンバイ状態／休止状態を活用する**
  パソコンからしばらくの間離れるときは、**Fn** + **F7** でスタンバイ状態、または **Fn** + **F10** で休止状態にしてください。パソコンの動作が停止し、消費電力を抑えることができます。
  また、有線 LAN Wake Up 機能／無線 LAN Wake Up 機能を使わない場合は、無効に設定してください。スタンバイ／休止状態の消費電力を抑えることができます。
  現在の設定は、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [省電力設定ユーティリティ] をクリックし、[スタンバイ中の有線 LAN の省電力機能] ／ [スタンバイ中の無線 LAN の省電力機能] をご覧ください。

省電力設定ユーティリティを使う

次の省電力機能を一度にまとめて設定することができます。バッテリー駆動時間を長くしたい場合は有効に設定してください。

- **Intel ビデオドライバ省電力機能（インテル (R) ディスプレイ省電テクノロジ）**
  画像のコントラストや色などを調整することにより、画質をある程度保った状態で内部 LCD の消費電力を抑えます。画像や色の微妙な表現力が必要な場合や画像編集用アプリケーションソフトで画像編集を行う場合は、無効に設定することをお勧めします。
- **スタンバイ中の有線 LAN の省電力機能**
  [有効] の場合、有線 LAN Wake Up 機能を無効にしてスタンバイ・休止状態での消費電力を抑えます。
  有線 LAN Wake Up 機能をお使いになる場合は、[無効] に設定する必要があります。
- **スタンバイ中の無線 LAN の省電力機能**
  [有効] の場合、無線 LAN Wake Up 機能を無効にしてスタンバイ・休止状態での消費電力を抑えます。
  無線 LAN Wake Up 機能をお使いになる場合は、[無効] に設定する必要があります。

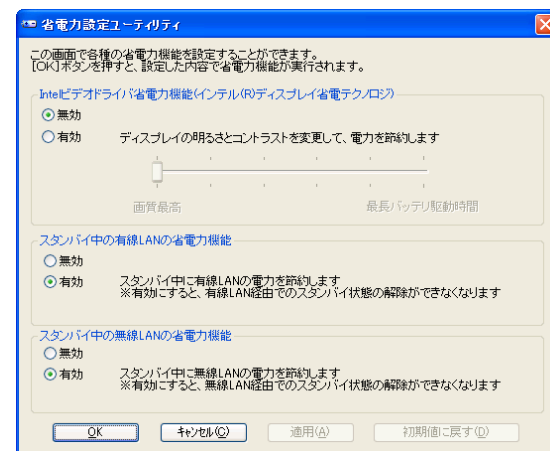
■ 設定方法

省電力設定ユーティリティの有効／無効は、次の手順で切り替えてください。

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [省電力設定ユーティリティ]をクリックする。**

2 **設定したい各機能の[有効]をクリックする。**

確認画面が表示されたら、内容を確認して[OK]をクリックしてください。

- [Intel ビデオドライバ省電力機能] を有効にするには、[有効] をクリックし、スライドバーを [最長バッテリ駆動時間] 側に設定してください。

3 **[OK]をクリックする。**
[初期値に戻す] - [OK]をクリックすると、工場出荷時の設定に戻ります。

お知らせ

- [Intelビデオドライバ省電力機能]は、次の方法でも設定できます。
  ① [スタート] - [コントロールパネル]をクリックして、左側の[関連項目]の[コントロールパネルのその他のオプション] - [Intel(R) GMA Driver for Mobile]をクリックする。
  ② [ノートブック]をクリックし、[適用]をクリックして[OK]をクリックする。
  ③ [ディスプレイ設定]をクリックする。
  ④ [電源設定]をクリックする。
  ⑤ [設定の変更]をクリックする。
  ⑥ [インテル(R) ディスプレイ省電テクノロジ]をクリックして、チェックマークを付ける。
  ⑦ スライドバーを[最長バッテリ駆動時間]側に設定し、[OK]をクリックする。
  ⑧ [OK]をクリックする。
  これで設定は完了です（再起動する必要はありません）。
- 有線LAN Wake Up機能を無効にすることで、[スタンバイ中の有線LANの省電力機能]を有効にすることもできます。（➔55ページ）（再起動する必要はありません。）
- 無線LAN Wake Up機能を無効にすることで、[スタンバイ中の無線LANの省電力機能]を有効にすることもできます。（➔65ページ）（再起動する必要はありません。）

大切なデータを守るために、セキュリティ機能を使うことをお勧めします。

- 次のセキュリティ機能についてもご覧ください。
  < セキュリティチップ（TPM）内蔵モデルのみ >
  - 内蔵セキュリティ （TPM） （➔80 ページ）：詳しくは 『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。

スーパーバイザーパスワード／ユーザーパスワードを設定する

ユーザーパスワードを設定する前に、スーパーバイザーパスワードを設定してください。

1. **セットアップユーティリティを起動する。（➔73ページ）**
2. **「セキュリティ」を選ぶ。**
3. **「スーパーバイザーパスワード設定」または「ユーザーパスワード設定」を選び、Enterを押す。**
4. **「新しいパスワードを入力してください」にパスワードを入力し、Enterを押す。**
   - パスワードがすでに設定されている場合は、「現在のパスワードを入力してください」にパスワードを入力して Enter を押してください。
   - パスワードを無効にする場合は、入力欄を空欄にして Enter を押してください。
5. **「新しいパスワードを確認してください」に再度パスワードを入力し、Enterを押す。**
6. **F10を押し、「はい」を選んでEnterを押す。**

お願い

- パスワードを忘れないようにしてください。スーパーバイザーパスワードを忘れると、パソコンの動作環境の設定（パスワード設定、起動ドライブの選択など）ができなくなります。その場合はご相談窓口にご相談ください。
- セットアップユーティリティを起動しているときは、他の人にパスワードを設定・変更されないようにパソコンから離れないでください。

お知らせ

- パスワードは画面に表示されません。
- 入力できる文字は、半角の英数字（スペースを含む）で最大32文字です。
  - 大文字、小文字は区別されません。
  - 数字の入力にテンキーは使用できません。
  - パスワードの入力に**Shift**と**Ctrl**は使用できません。
- スーパーバイザーパスワードを無効にすると、ユーザーパスワードも無効になります。

パソコンを無断で使用されたくないとき

起動時のパスワードを設定することにより、他の人の無断使用からパソコンを守ることができます。

1　パスワードを設定し（➔19ページ）、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「起動時のパスワード」を「有効」に設定する。（➔80ページ）

お知らせ

- スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されていると、「起動時のパスワード」が「無効」であっても、セットアップユーティリティ起動時にパスワード入力画面が表示されます。

ハードディスク内のデータを読み書きされたくないとき

ハードディスクを別のパソコンに取り付けたときに、ハードディスクのデータを読み書きされないようにすることができます。ハードディスクを元のパソコンに戻すと、データの読み書きができます。（ハードディスク保護は、データの完全な保護を保証するものではありません。）

1　セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで、「ハードディスク保護」を「有効」に設定する。（➔80ページ）

お願い

- 元のパソコンでデータの読み書きをするには、セットアップユーティリティの設定が、ハードディスクを取り外す前と同じでなくてはなりません。
- スーパーバイザーパスワードを設定しないと、ハードディスク保護機能は使えません。あらかじめスーパーバイザーパスワードを設定しておいてください（➔19ページ）。
- ハードディスクの修理を依頼する際は：
  - 「ハードディスク保護」が「無効」になっていることを確認してください。

お知らせ

- ハードディスク保護機能は、内蔵ハードディスクにのみ働きます。外付けのハードディスクには働きません。
- 「起動時のパスワード」は、ハードディスク保護機能を有効にするためには必要ありませんが、セキュリティをより確実にするために「有効」にしておくことをお勧めします。

バッテリー状態表示ランプ

バッテリー状態表示ランプ	バッテリーの状態
消灯	バッテリーパックが取り付けられていません。または、充電が行われていません。
オレンジ色点灯	バッテリーの充電中です。
緑色点灯	バッテリーの充電完了です。
緑色点滅	高温モード時に、バッテリー残量が常温モード時の約 80%*1 になるまで放電しています（➔24 ページ）。この状態でバッテリーパックを取り外さないでください。
赤色点灯	バッテリー残量が、約 9% 以下になっています。
赤色点滅	バッテリーパックまたは充電回路が正常に動作していません。
オレンジ色点滅	以下の理由で、バッテリーは一時的に充電できない状態です。 • 内部の温度が充電可能範囲外になっている。 • 消費電力量の多いアプリケーションソフトまたは周辺機器を起動しているため、充電するための電力が不足している。
緑色とオレンジ色が交互に点滅	低温時にハードディスクが誤動作するのを防ぐため、ハードディスクをウォームアップしています。ウォームアップ後、パソコンは自動的に起動します。
オレンジ色がゆっくりと点滅	セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「充電中バッテリー状態表示」が「明滅」に設定されています。

*1 高温モード時におけるバッテリー残量 100%は、常温モード時の 80%と同等です。

お知らせ

- 過充電を防ぐため、いったんバッテリーが満充電になると、バッテリー残量が約95%以下になるまで再充電されません。
- 「Concealed モード設定」で「LED」を「オフ」に設定しているときは、バッテリー状態表示ランプは点灯（または点滅）しません。

バッテリー残量を確認する

バッテリー残量を画面上で確認できます。

(Windows にログオンした後)

1 Fn + F9を押す。

- バッテリーパック装着時（例）

：常温モード時（➔24ページ）

：高温モード時 （➔24ページ）

- バッテリーパック未装着時

お知らせ

- 次のような場合、表示されるバッテリー残量と実際のバッテリー残量が合わないことがあります。正しく表示させるにはバッテリー残量表示補正 （➔26ページ）を行ってください。
  - バッテリー状態表示ランプの赤色点灯が長く続く。
  - バッテリー状態表示ランプがオレンジ色に点灯し、「99%」の表示が長く続く。
  - 使用時間が短いにもかかわらず、バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯する。
    ACアダプターを接続せずに長時間スタンバイ状態にしているときに起こります。
- バッテリーの残量表示が「電源オプションのプロパティ」の「電源メーター」と異なる場合がありますが、故障ではありません。

高温モード

パソコンを高温環境下で使用したり、満充電の状態で長時間使用したりするときは、高温モードにするとバッテリーの劣化を防ぐことができます。
セットアップユーティリティの「メイン」メニューの「環境」を「自動」(工場出荷時の設定)または「高温」にしてください。(➔75 ページ)

お知らせ

- 高温モード時におけるバッテリー残量100%は、常温モード時のバッテリー残量80%と同等です。
- 「常温」から「高温」またはその逆に切り替えると、バッテリーがいったん完全に充電または放電されるまで、バッテリー残量が正しく表示されません。
- 「自動」モード:
  いったん常温モードから高温モードへ自動的に切り替わると、バッテリーの劣化を防ぐために、切り替え後の充電量の合計が満充電量の約5倍になるまで常温モードに切り替わりません。

バッテリー残量が少なくなったときの動作

工場出荷時の設定は以下のとおりです。

バッテリー残量が 10%になったら 「バッテリー低下アラーム」	バッテリー残量が 5%になったら 「バッテリー切れアラーム」
● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示します。 ↓	● 残量が少ないことを知らせるメッセージを表示し、その後休止状態に入ります。 ↓
充電が必要です。	AC アダプターを接続するか、バッテリーパックを交換して、パソコンを起動してください。
● AC アダプターをすぐに接続してください。AC アダプターがない場合は、動作中のプログラムを終了し、Windows を終了して電源状態表示ランプが消えていることを確認してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、電源を切りバッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。	● AC アダプターを接続し、バッテリーを充電してください。 ● 充電してある予備のバッテリーパックがある場合は、電源を切りバッテリーパックを交換して、再度電源を入れてください。 バッテリー切れで休止状態になった場合、そのままリジュームすると、Windows が正常に起動しなかったり、アラーム機能が正常に動作しなくなったりする場合があります。
スタンバイ状態のときは、バッテリーパックを交換しないでください。	

バッテリー容量を正確に表示させる（バッテリー残量表示補正）

バッテリー残量表示補正機能を使うと、バッテリー容量を計測し記憶させせることができます。バッテリー残量を正確に表示させるために、この機能を使っていったん満充電にしてから完全に放電させてください。この操作は、お買い上げ後すぐに、少なくとも 1 度は行ってください。バッテリー残量表示補正は、通常 3 か月おきに実施してください。長くバッテリーパックをお使いの間には、バッテリーパックの劣化などにより、残量が正確に表示されなくなる場合があります。その場合もこの操作を行ってください。

1 **ACアダプターを接続する。**

2 **すべてのアプリケーションソフトを終了する。**

3 **バッテリー残量表示補正を実行する。**

① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [バッテリー] - [バッテリー残量表示補正ユーティリティ] をクリックする。

② 確認メッセージが表示されたら、[開始]をクリックする。

- バッテリー残量表示補正を頻繁に行うと、バッテリーが劣化する原因になります。前回補正してから約 1 か月以内に実行すると、注意を促すメッセージが表示されます。その場合は、バッテリー残量表示補正を実行しないでください。

③ Windowsを終了するメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。
バッテリー残量表示補正が始まります。
満充電になった後、バッテリーの放電が始まります。放電が完了すると、自動的に電源が切れます。
バッテリー残量表示補正が終了すると、通常の充電が始まります。

お知らせ

- 10 ℃ ～ 30 ℃の温度環境で実行してください。
- バッテリー容量が大きいため、バッテリー残量表示補正に時間がかかりますが、故障ではありません。
  - 満充電にかかる時間：最大約4.5時間
  - 完全放電にかかる時間：約4.5時間
- バッテリー残量表示補正実行中にパソコンの電源を切ると（停電や、誤ってACアダプターまたはバッテリーパックを取り外すなど）、バッテリー残量表示は補正されません。
- バッテリー残量表示補正は、次の手順でも実行できます。
  ① パソコンを再起動する。
  ② パソコンの起動後すぐ、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に **F9** を押す。
  ③ バッテリー残量が表示されたら **Enter** を押す。
  ④ 画面の指示に従って操作を行う。

バッテリーパックを交換する

バッテリーパックは消耗品のため、交換が必要になります。バッテリーによる駆動時間が著しく短くなり、バッテリー残量表示補正を実行した後でも性能が回復しない場合は、新しいものと交換してください。

お願い

- バッテリーパックは、お買い上げ時には充電されていません。初めてお使いになる前に必ず充電してください。ACアダプターを接続すると自動的に充電が始まります。
- スタンバイ状態に入っているときは、バッテリーパックの取り外しや交換を行わないでください。データが失われたり、パソコンが故障したりする可能性があります。

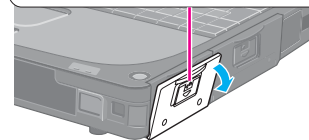
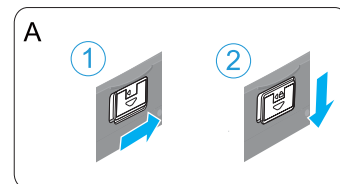
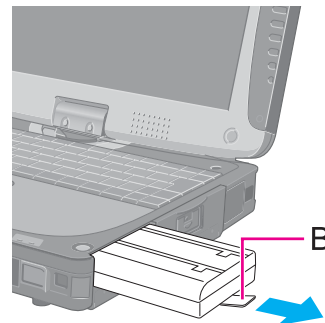
1　パソコンの電源を切る。

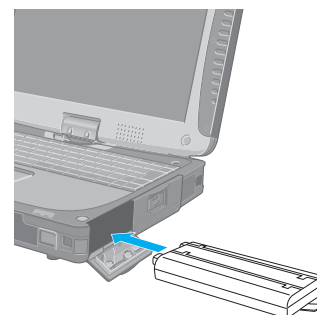
- スタンバイ機能は使わないでください。

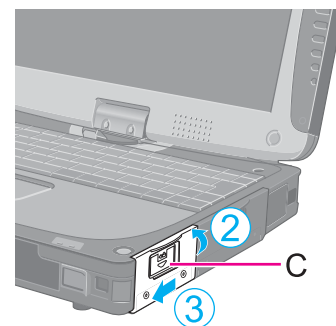
2　バッテリーパックを取り外す／取り付ける。

- 取り外すには

① ラッチ（A）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。

② ラッチ（A）を押し下げて、カバーを開ける。

③ バッテリーパックのタブ（B）を引いてスロットから取り出す。

● 取り付けるには

① スロットの奥までしっかりとバッテリーパックを挿入する。

② カチッと音がするまでカバーを閉じる。

③ ラッチ（C）を左側にスライドして、カバーをロックする。

お願い

● パソコンを持ち運ぶ際にバッテリーパックが落ちないよう、ラッチが正しくロックされていることを確認してください。

不要になった充電式電池（バッテリーパック）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

使用済み充電式電池（バッテリーパック）の届け先

- 最寄りの充電式電池リサイクル協力店へ。
  詳しくは、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.net/hp （2009 年 1 月現在）

自動表示機能を有効にする

初めて Windows にログオンした場合、画面右下に PC 情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定するための画面が表示されます。次の手順を行ってください。

1 **[Panasonic からのお知らせが1件あります]をクリックする。**

PC Information
Panasonic からのお知らせが 1 件あります

2 **確認の画面で[はい]をクリックする。**
バッテリーに関する情報の自動表示機能が有効になります。
以降、定期的にバッテリーに関する情報があるかチェックします。

お知らせ

- 確認の画面で[いいえ]または[キャンセル]をクリックした場合
  - [いいえ]をクリックした場合
    以降、確認の画面が表示されなくなります。PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするには、「設定を変更する」をご覧になり、設定してください。
  - [キャンセル]をクリックした場合
    次回Windowsにログオンしたときに、再度確認の画面が表示されます。
- PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするための確認画面は、新しく作成したユーザーアカウントで初めてWindowsにログオンした場合も表示されます。

バッテリーに関する情報を確認する

PC情報ポップアップの自動表示機能を有効に設定していると、画面右下に次の場合に [バッテリーに関するお知らせがX件あります] という小ポップアップ画面が表示されます。
バッテリーパックの状態は定期的に確認されるため、該当の状態になったときに必ずバッテリーに関する情報が表示されるものではありません。

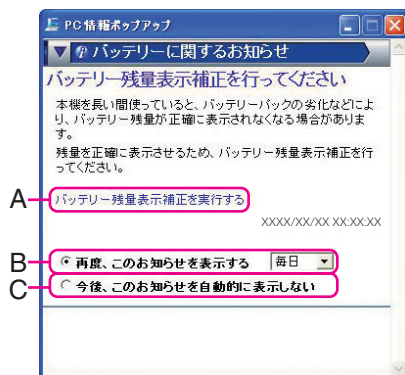
PC Information
バッテリーに関するお知らせが X 件あります

- **バッテリー残量表示補正に関するお知らせ**
  バッテリーパックの使用開始日、または前回のバッテリー残量表示補正から 180 日以上経過している場合
- **バッテリーパックの消耗に関するお知らせ**
  現在の満充電容量が購入時に比べて 31% ～ 50% の場合（割合（%）は小数点以下切り捨て）
- **バッテリーパックの交換に関するお知らせ**
  現在の満充電容量が購入時に比べて 30% 以下の場合（割合（%）は小数点以下切り捨て）

小ポップアップ画面が右下に表示された場合は、次の手順でバッテリーに関する情報を確認してください。

1 **[バッテリーに関するお知らせがX件あります]をクリックする。**

PC Information
バッテリーに関するお知らせが X 件あります

2 詳細を確認する。

（画面は一例です）

A. バッテリー残量表示補正を行う方がよい場合に表示されます。クリックすると、「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」が起動します。
B. クリックすると、再度自動的にお知らせを表示します。[▼] をクリックすると、再度自動的にお知らせするまでの間隔を設定できます。
C. クリックすると、お知らせが自動的に表示されなくなります。

3 ☒をクリックし、ウィンドウを閉じる。

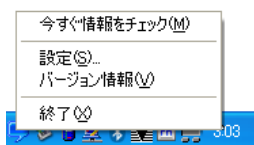
お知らせ

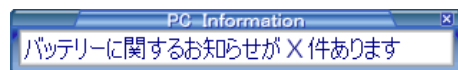
- 満充電容量は次の方法で確認することができます。
  現在の満充電容量を確認する。
  ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー] をクリックする。
  ② [バッテリー使用状況] をクリックする。
  ③ [満充電容量] の値を確認する。

  購入時の満充電容量を確認する。
  ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー] をクリックする。
  ② [SMBIOSデータ] をクリックする。
  ③ [Portable Battery] をダブルクリックする。
  ④ [Portable Battery] をダブルクリックする。
  ⑤ [Design Capacity] の値を確認する。
  セットアップユーティリティで「環境」の設定を変更した場合や、バッテリーパックがセットされていない状態でコンピューターを起動した場合などは、正しく表示されないことがあります。その場合はコンピューターを再起動した後、確認してください。

- バッテリー容量を計測し、記憶／学習するためにバッテリー残量表示補正を行ってください。
  バッテリー残量表示補正を行わないと、バッテリーパックの消耗や交換に関するお知らせが表示されない場合があります。
- バッテリー残量表示補正を行った場合、次回ログオン時にバッテリーに関する情報の確認を行います（「お知らせの設定」画面で [自動チェックする] にチェックマークを付けている項目のみ）。
- 「バッテリー残量表示補正を行ってください」というお知らせと同時に、「バッテリーパックが消耗しています」、「バッテリーパックを交換してください」というお知らせが表示された場合は、正確なバッテリー容量を得るために、バッテリー残量表示補正を行ってください。
- バッテリー残量表示補正は、周囲の温度が10℃～30℃の場所で行ってください。
  低温で実行すると、正しく補正されない場合があります。
- 「バッテリーパックを交換してください」という画面が表示された場合は、バッテリーパックを交換してください。
  交換方法については、「バッテリーパックを交換する」（➔27ページ）をご覧ください。

小ポップアップ画面が表示されていないときにバッテリーパックに関するお知らせを確認する

1　画面右下のタスクトレイの または を右クリックし、[今すぐ情報をチェック]をクリックする。

小ポップアップ画面が表示されます。
お知らせする情報がない場合は、「お知らせはありません」という画面が表示されます。[OK]をクリックしてください。

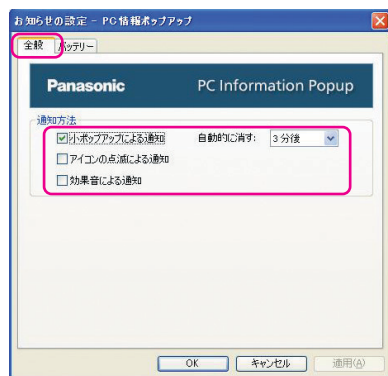
2　[バッテリーに関するお知らせがX件あります] をクリックする。

画面右下に表示されます。

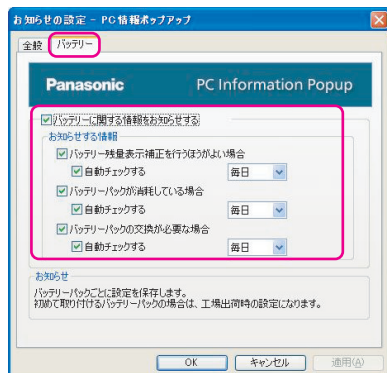
3　詳細を確認する。

設定を変更する

各お知らせの表示条件を変更したり、情報を表示する機能を無効にしたりすることができます。

1. **画面右下のタスクトレイの またはを右クリックし、[設定] をクリックする。**
2. **[全般]、[バッテリー] から、設定を変更したい項目をクリックし、必要な項目を設定する。**
3. **設定が終わったら [OK] をクリックする。**

● **[全般]**
すべてのチェックマークを外すと、お知らせする情報があっても小ポップアップ画面は表示されず、画面右下のタスクトレイの が に変わるだけになります。

- [小ポップアップによる通知]
  チェックマークを付けると、お知らせがある場合に小ポップアップ画面を表示します。
  チェックマークを外しても、情報を手動で確認したときにお知らせがある場合は、小ポップアップ画面が表示されます。
- [自動的に消す]
  小ポップアップ画面が表示されてから消えるまでの時間を設定します。
- [アイコンの点滅による通知]
  チェックマークを付けると、お知らせがある場合に画面右下のタスクトレイのPC情報ポップアップアイコンが点滅します。
- [効果音による通知]
  チェックマークを付けると、お知らせがある場合に効果音が鳴ります。

● **[バッテリー]**
バッテリーに関する情報の表示の設定を行います。

- [バッテリーに関する情報をお知らせする]
  チェックマークを付けると、バッテリーに関する情報が表示されます。
  チェックマークを外すと、バッテリーに関する情報が表示されなくなり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、「アイコンについて」の「お知らせ」（➔35ページ）をご参照ください。
- [お知らせする情報]
  各項目をクリックしてチェックマークを外す／付けると、バッテリーに関する情報の表示条件が変更されます。工場出荷時はすべての項目にチェックマークが付いています。
- [自動チェックする]
  チェックマークを付けると、定期的にバッテリーに関する情報があるか自動的にチェックします。
  チェックマークを外すと、[今すぐ情報をチェック] をクリックした場合のみ情報をチェックします。
  [▼] をクリックすると、自動的に情報をチェックする間隔を変更することができます。工場出荷時は [毎日] に設定されています。

お知らせ

● バッテリーに関するお知らせの設定内容はバッテリーパックごとに保存されます。
バッテリーパックを取り外している場合は、すべて無効の状態になり、PC情報ポップアップが終了します。（アイコンが表示されなくなります。）再度アイコンを表示させるには、「アイコンについて」の「お知らせ」（➔35ページ）をご参照ください。

- 初めて取り付けるバッテリーパックの[自動チェックする]の設定について
  [自動チェックする]にチェックマークが付くかどうかは、PC情報ポップアップの自動表示機能を有効にするかどうかの確認画面（「自動表示機能を有効にする」（➔29ページ）の手順**2**の画面）で設定した内容がそのまま反映されます。
  この画面で[はい]を選択していた場合は、初めて取り付けるバッテリーパックにも[自動チェックする]にチェックマークが付き、チェックする間隔は工場出荷時の設定（毎日）に設定されます。
  必要に応じて変更してください。

アイコンについて

PC 情報ポップアップは、Windows を起動すると自動的に起動し、画面右下のタスクトレイに表示されるアイコンで各情報を確認することができます。

通常は が表示されています。
が表示された場合は、以下の表をご覧ください。

アイコン	状態
	表示する情報がある場合（お知らせするタイミングでアイコンが変わります）。 または、小ポップアップ画面が表示されてから、一定時間が経過して小ポップアップ画面が消えた場合。 クリックすると、小ポップアップ画面が表示されます。

お知らせ

- アイコンが表示されていない場合は、バッテリーパックをセットして、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ポップアップ] をクリックしてください。
  情報を表示するには、「設定を変更する」（➔33ページ）をご覧になり、[バッテリーに関する情報をお知らせする]にチェックマークを付けてください。

次のカードを挿入することができます。

- エクスプレスカードスロット（A）：ExpressCard/34 または ExpressCard/54（エクスプレスカードスロット内蔵モデルのみ）
- PC カードスロット（B）：PC カードタイプⅠ（3.3 mm）またはタイプⅡ（5.0 mm）
- スマートカードスロット内蔵モデルの場合（➔42 ページ）

お知らせ

- 下記のカードは使えません。
  PCカードタイプⅢ（10.5 mm）、ZVカード、SRAMカード、FLASH ROMカード（ATA インターフェースタイプを除く）、その他の動作電圧12Vを必要とするカード
- 工場出荷時には、両スロットにダミーカードが取り付けられています。ご使用前に、ダミーカードを取り出してください。（➔37ページ 「カードを取り出す」の手順 2）
- スロットを使わないときには、スロットにダミーカードを取り付けてください。
- PCカードのダミーカードはPCカードスロットに、エクスプレスカードのダミーカードはエクスプレスカードスロットに取り付けてください。ダミーカードを間違って取り付けると、故障の原因になります。

< スマートカードスロット内蔵モデルのみ >

- PCカードスロット（A）：PCカードタイプⅠ（3.3 mm）またはタイプⅡ（5.0 mm）
- スマートカードスロット（B）：スマートカード
  スマートカードの取り付け／取り出し：➔42ページ
- エクスプレスカードは使用できません。

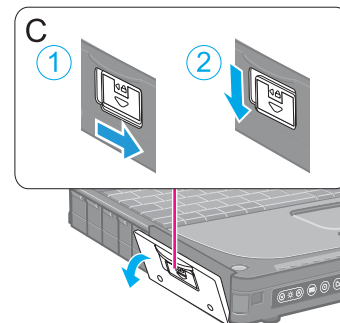
カードの取り付け／取り出し

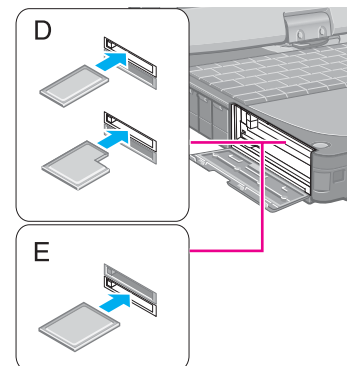
準備

カードのドライバーが入ったメディア（CD-ROMなど）に対応する機器を取り付けてください。

■ カードを取り付ける

1 カバーを開ける。

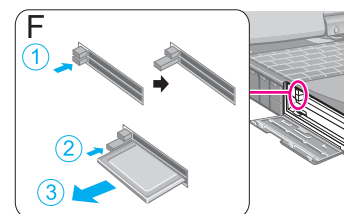
① ラッチ（C）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。
② ラッチ（C）を押し下げて、カバーを開ける。

2 **カードのラベル面を上にして、エクスプレスカード（上スロット）（D）またはPCカード（下スロット）（E）を、スロットの奥までしっかりと挿入する。**

- 詳しくはカードの取扱説明書をご覧ください。

■ カードを取り出す

1 **カードの停止処理を行う。**

① 画面右下のタスクトレイの をダブルクリックし、カードを選択して [停止]をクリックする。
② 画面の指示に従って操作を行う。
- パソコンの電源を切ってからカードを取り出す場合、この手順は必要ありません。

2 **カバーを開けて（➔36ページ　手順*1*）、カードを取り出す。**

① 取り出しボタン（F）を押す。取り出しボタンが飛び出します。
② 再度取り出しボタン（F）を押すとスロットからカードが少し出てきます。
③ カードをまっすぐ引き抜く。

お知らせ

- カードの定格を確認して、動作電流がカードスロットの許容電流を超えないようにしてください。許容電流を超えると、故障の原因になります。
  許容電流：3.3 V：400 mA、5 V：400 mA
- カードによっては同時に使用できない場合があります。
- カードの取り付け／取り出しを繰り返していると、認識されなくなることがあります。その場合は、パソコンを再起動してください。
- スタンバイ・休止状態からリジュームした後で、パソコンが動作しなくなったときは、カードの出し入れを行ってください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。

- カード挿入時は、消費電力が増加します。カードを使用していないとき、特にバッテリー電力で操作しているときは、カードを取り外しておいてください。
- PCカードやエクスプレスカードを使って周辺機器（SCSI、IEEE1394など）を接続する場合は、下記の手順に従ってください。（手順は一例です。）
  ① 周辺機器をカードに接続する。
  ② 周辺機器の電源を入れる。
  ③ スロットの奥までしっかりとカードを挿入する。

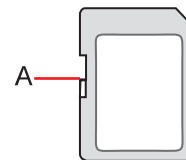
SDメモリーカードについて

- 本機の SD メモリーカードスロットは、SD メモリーカードと SDHC メモリーカード（2GB を超える容量を持つ SD メモリーカード）に対応しています（セキュア対応（著作権保護機能付き））。
- miniSD メモリーカードおよび microSD メモリーカードを使う場合は、必ず専用のアダプターに装着し、アダプターごと抜き挿ししてください。スロット内にアダプターを残さないでください。
- 本機で SD メモリーカードをフォーマットする場合は、Windows の「フォーマット」ではなく、SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いください。
  このソフトウェアは下記のホームページからダウンロードできます。
  http://panasonic.jp/support/global/cs/sd/download/sd_formatter.html
- 他の機器で SD メモリーカードを使う場合は、その機器でカードをフォーマットしてください。詳しくは各機器の取扱説明書をご覧ください。
- SD メモリーカードは、インターネットなどのコンテンツ配信サービスに対応しています（セキュア対応（著作権保護機能付き））。

取り扱いおよび保管上のお願い

- パソコンからカードを取り出した後は、ケースに入れて保管してください。
- 次のことを行わないでください。
  - 分解や改造
  - 強い衝撃を与える、曲げる、落とす
  - 端子部に指や金属で触れる
  - 貼られているラベルをはがしたり、新たにラベルやシールを貼ったりする
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光のあたるところや車内など、温度が高くなるところ
  - ほこりの多いところや湿度の高いところ
  - 腐食性のガスなどが発生するところ

データの取り扱い上のご注意

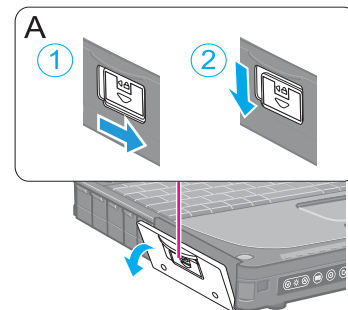
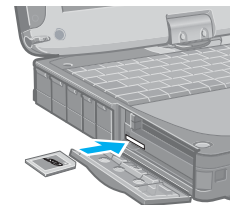
- カードの書き込み禁止スイッチ（A）を「LOCK」側にしてください。データの録音（チェックアウト）、保存、編集などをするときには解除してください。
- 大切なデータは他のメディアにもバックアップしておくことをお勧めします。
- 廃棄するときは、個人データなどの流出を防ぐために、金槌などで物理的に破壊することをお勧めします。

SDメモリーカードの取り付け／取り出し

お願い

- Windowsのログオン画面またはデスクトップ画面が表示されるまで、SDメモリーカードの取り付け／取り出しは行わないでください。
- 次の場合は、カードを取り出したりパソコンの電源を切ったりしないでください。データが壊れることがあります。
  - スタンバイまたは休止状態のとき
  - SD メモリーカード状態表示ランプ SD が点灯または点滅しているとき
  - 書き込み操作の直後
    書き込み操作の直後は、パソコンがカードにアクセスを続けていることがあります。操作が完了する前にカードを取り出すと、データが壊れたり、カードに正常にアクセスできなくなったりするおそれがあります。
- お客さまが記録したデータの損失ならびにその他の直接、間接の障害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 無理にカードを引き抜かないでください。スロットが傷つく場合があります。
- カードは正しい向きに挿入してください。誤って挿入すると、カードとスロットが損傷する場合があります。
- スタンバイ・休止状態からリジュームした後、約30秒間はSDメモリーカードにアクセスしないでください。

■ カードを取り付ける

1 カバーを開ける。

① ラッチ（A）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。
② ラッチ（A）を押し下げて、カバーを開ける。

2 カードのラベル面を上にして、角が欠けた方から挿入する。

■ カードを取り出す

準備

- データを保存し、すべてのアプリケーションソフトを終了してください。
- カバーを開けて、SDメモリーカード状態表示ランプ SD （B）が消えていることを確認してください。

1 カードの停止処理を行う。

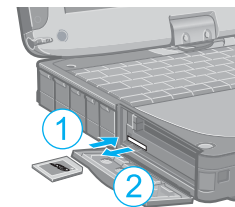
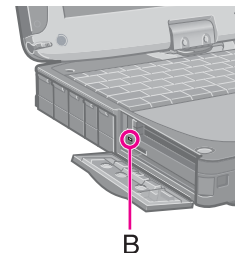
① 画面右下のタスクトレイの をダブルクリックして、[SD記憶装置デバイス]をクリックし、[停止]をクリックする。

② 画面の指示に従って操作を行う。

- パソコンの電源を切ってからカードを取り出す場合、この手順は必要ありません。

2 カードを取り出す。

① カードを押す。
スロットからカードが出てきます。

② カードをまっすぐ引き抜く。

スマートカード

< スマートカードスロット内蔵モデルのみ >
スマートカードを使用するには、アプリケーションソフトが必要です。

次のカードを使用することができます。

- PC カードスロット（A）：PC カードタイプ I （3.3 mm）またはタイプ II （5.0 mm）
- スマートカードスロット（B）：スマートカード

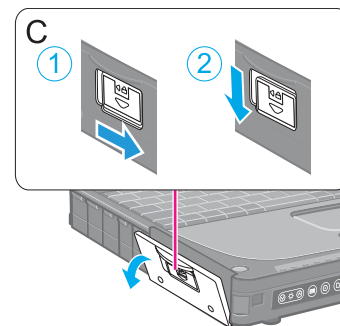
お願い

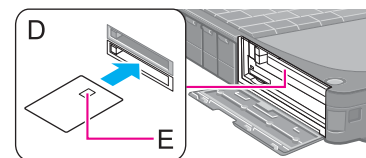
- スマートカードの取り扱いの際は、次のことを行わないでください。
  - 強い衝撃を与える、曲げる、落とす
  - 指や金属で接触部に触れる
  - 温度の高いところに長時間カードを放置する
  - 取り付けてすぐにカードを取り出す

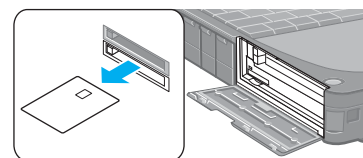
スマートカードの取り付け／取り出し

■ カードを取り付ける

1　カバーを開ける。

① ラッチ（C）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。
② ラッチ（C）を押し下げて、カバーを開ける。

2　接触部分（E）を前にして、下のスロット（D）に挿し込む。

スロットの奥までしっかりと挿し込んでください。

■ カードを取り出す

1 カバーを開け、カードをまっすぐに引き出す。

下記の仕様に適合する RAM モジュールを使用してください。他のモジュールを使うと、正常に動作しないだけでなく、故障の原因になることがあります。

RAM モジュール仕様：
200 ピン、SO-DIMM、1.8 V、DDR2 SDRAM、PC2-5300
（推奨品については、当社の最新のカタログやホームページでご確認ください。）

お願い

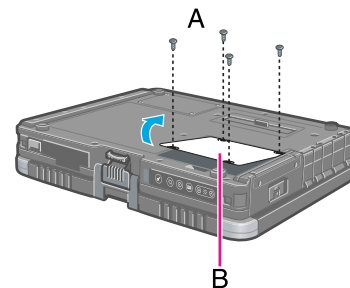
- RAMモジュールは、静電気の影響を非常に受けやすいため、人間の体内に蓄積された静電気により損傷する場合があります。RAMモジュールの取り付け／取り外しの際には、本体内部の部品や端子に触れないようにし、異物がスロットに入らないようにしてください。機器が破損したり、火災、感電の原因になったりします。

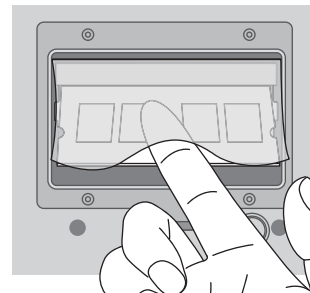
RAMモジュールの取り付け／取り外し

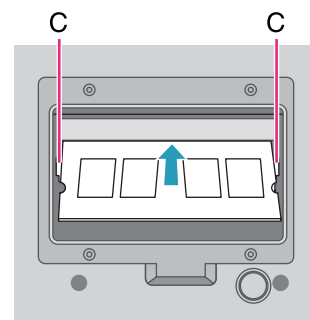
1 **パソコンの電源を切る。**

- スタンバイ機能や休止状態機能は使わないでください。

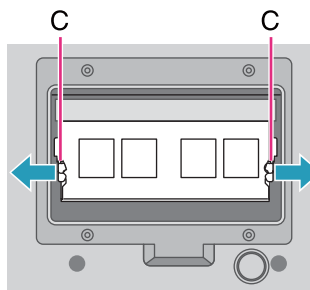
2 **ACアダプターを取り外し、バッテリーパックを取り外す。（➔27ページ）**

3 **パソコン底面のネジ（A）とカバー（B）を取り外す。**

4 **RAMモジュールを取り付ける／取り外す。**

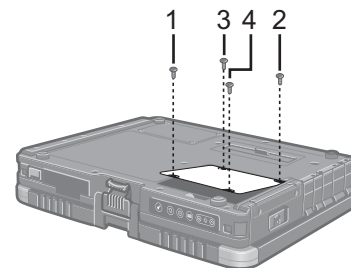
- 右の図のようにシートを持ち上げてから、RAM モジュールの取り付け／取り外しを行ってください。

- 取り付けるには

① モジュールを少し傾け、スロットに挿入する。
② 左右のフック（C）でロックされるまでモジュールを倒す。

• 説明のためにシートを省略しています。

- 取り外すには

① 左右のフック（C）をゆっくり開く。
　モジュールが持ち上がります。
② モジュールをゆっくりとスロットから取り外す。

• 説明のためにシートを省略しています。

5 カバーとバッテリーパックを取り付ける。

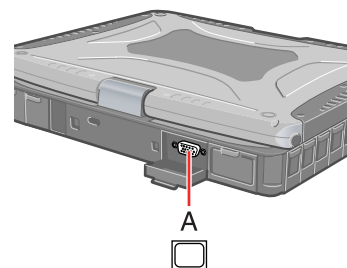
ネジを1～4の順に締めてください。

お願い

- ネジをしっかり締めて、カバーをきちんと固定してください。

お知らせ

- 挿入しにくい、または倒しにくい場合は、無理に力を加えず、モジュールの方向を再度確認してください。
- ネジ山をつぶさないよう、適切なドライバーを使用してください。
- RAMモジュールが正しく認識されている場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューに合計メモリーサイズが表示されます。(➔74ページ)
  RAMモジュールが認識されていない場合は、パソコンの電源を切り、RAMモジュールを取り付け直してください。

外部ディスプレイ

画面の表示先を外部ディスプレイに切り替えることができます。
外部ディスプレイを外部ディスプレイコネクター（A）に接続してください。

お知らせ

- 休止状態からのリジューム後または再起動後の表示先は、休止状態に入る前または再起動前と異なる場合があります。
- Windowsの起動後に表示先を切り替える場合、切り替えが完了するまでキーに触れないでください。
- Windowsが起動するまで（セットアップユーティリティなど）は、同時表示にすることができません。 **Fn**+**F3**を押すと、外部ディスプレイまたは内部LCDに切り替わります。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使用してユーザーを切り替えると、表示先を**Fn**+**F3**で切り替えられなくなることがあります。その場合はすべてのユーザーをログオフし、パソコンを再起動してください。
- [コマンドプロンプト]を全画面表示にしているときは、表示先を切り替えることができません。
- 外部ディスプレイのみを使用する場合は、内部LCDのみ、または同時表示をする場合とは別に、外部ディスプレイに適した色数、解像度、リフレッシュレートを設定してください。
  設定によっては、外部ディスプレイ画面が乱れたり、マウスカーソルが正しく表示されなかったりする場合があります。その場合は設定値を下げてください。
- 同時表示しているときは、DVD-Video、MPEGファイルなどの動画がスムーズに再生されない場合があります。
- 外部ディスプレイの取扱説明書をよくお読みください。
- プラグアンドプレイに対応していない外部ディスプレイを接続する場合は、下記メニューで適切なドライバーを選択するか、外部ディスプレイに付属のドライバーディスクを使用してください。
  [スタート] - [コントロールパネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面] - [設定] - [詳細設定] - [モニタ] - [プロパティ] - [ドライバ] - [ドライバの更新]
- 画像が正しく表示されない場合は、下記メニューで[ハードウェアアクセラレータ]の値を下げてください。
  [スタート] - [コントロールパネル] - [デスクトップの表示とテーマ] - [画面] - [設定] - [詳細設定] - [トラブルシューティング]

お願い

- 外部ディスプレイを取り外す前に、 **Fn**+**F3**を押して内部LCDに切り替えてください。切り替えをしないと、取り外す前と後で画質が異なる場合があります（解像度が正しくないなど）。その場合は、 **Fn**+**F3**を押して画質をリセットしてください。
- 次の操作を行うと、画面が乱れる場合があります。その場合はパソコンを再起動してください。
  - 高解像度または高リフレッシュレートに設定した外部ディスプレイを取り外す
  - パソコン操作中に外部ディスプレイの接続や取り外しを行う

表示先を切り替える

1 **Fn+F3を押す。**
押すたびに
内部LCD → 同時表示 → 外部ディスプレイ

拡張デスクトップモードを使う

拡張デスクトップモードでは、内部 LCD と外部ディスプレイをひと続きの作業領域として使うことができます。内部 LCD と外部ディスプレイとの間で、ウィンドウのドラッグ移動などができます。

1 **[Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver for mobile] 画面を表示する。**
[スタート] - [コントロールパネル] - [コントロールパネルのその他のオプション] - [Intel(R) GMA Driver for Mobile] - [ディスプレイデバイス]をクリックする。

2 **[拡張デスクトップ]をクリックし、[プライマリデバイス] と[セカンダリデバイス]を設定する。**

3 **[OK]をクリックする。**
確認メッセージで[OK]をクリックしてください。

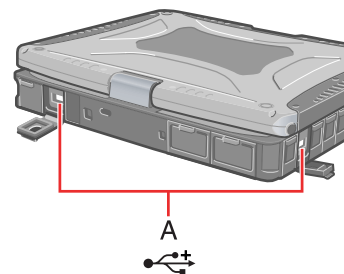
お知らせ

- アプリケーションソフトによっては、拡張デスクトップモードを使用できない場合があります。
- 最大化ボタンをクリックすると、どちらか一方のディスプレイに最大表示されます。最大化したウィンドウをもう一方のディスプレイに移動することはできません。
- Fn+F3を押してディスプレイを切り替えることはできません。
- 拡張デスクトップモード使用時は画面回転機能を使わないでください。
- Fn キーの組み合わせを押すと表示されるポップアップウィンドウは、プライマリーデバイスにのみ表示されます。
- タッチパネルを使用しているときは、内部LCDをプライマリーデバイスとして設定してください。内部LCDに触れると、プライマリーデバイス上でカーソルが動きます。

USB機器の取り付け／取り外し

■ USB機器を取り付ける

1　カバーを開け、USB機器をUSBポート（A）に接続してください。

詳しくはUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

■ USB機器を取り外す

1　USB機器の停止処理を行う。

① 画面右下のタスクトレイの をダブルクリックし、USB機器を選んで[停止]をクリックする。

② 画面の指示に従って操作を行う。

- 次の場合は、この手順は必要ありません。
  - パソコンの電源を切ってから機器を取り外すとき
  - が表示されていないとき
  - 手順 ① で、取り外す機器が一覧にないとき

2　USB機器を取り外す。

お知らせ

- USB機器を使うには、ドライバーのインストールが必要な場合があります。詳しくはUSB機器の取扱説明書をご覧ください。
- USB機器を別のUSBポートに接続し直すときは、ドライバーのインストールが再度必要になる場合があります。
- USB機器が接続されていると、スタンバイ機能や休止状態機能が正常に働かない場合があります。パソコンが正常に起動しない場合は、USB機器を取り外し、パソコンを再起動してください。
- USB機器を抜き挿しすると、 がデバイスマネージャに表示され、機器が正しく認識されないことがあります。その場合は、機器を再度抜き挿ししてください。
- USB機器が接続されていると、電力消費量が増加します。特にバッテリー電力で操作しているときは、使用していないUSB機器を取り外しておいてください。

デジタルビデオカメラなどの IEEE1394 対応機器を接続することができます。

お知らせ

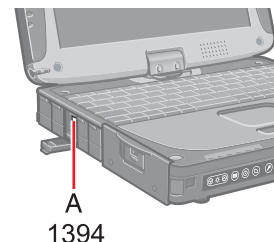
- IEEE1394機器を使うには、ドライバーのインストールが必要な場合があります。詳しくはIEEE1394機器の取扱説明書をご覧ください。

■ IEEE1394機器を接続する

準備

ドライバーが入ったメディア（CD-ROMなど）に対応する機器を取り付けてください。

1 **パソコンとIEEE1394機器の電源を入れる。**

2 **カバーを開け、IEEE1394機器をIEEE1394コネクター（A）に接続する。**
詳しくはIEEE1394機器の取扱説明書をご覧ください。

■ IEEE1394機器を取り外す

お願い

- 必ずパソコンの電源を切ってからIEEE1394機器の電源を切ってください。

1 **パソコンの電源を切り、IEEE1394コネクターからケーブルを取り外す。**

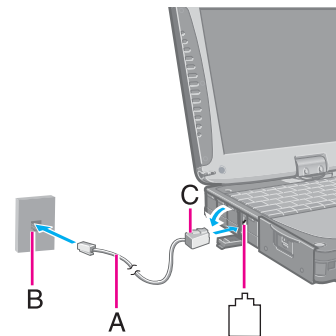
2 **IEEE1394機器の電源を切り、ケーブルを取り外す。**

< モデム内蔵モデルのみ >

内蔵モデムと電話コンセントを接続する

1 **カバーを開け、モジュラーケーブル（付属）（A）を使って、電話コンセント（B）に接続する。**

- 突起部（C）の形がコネクターに合うようにし、カチッと音がするまで挿入してください。

2 **[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [電話とモデムのオプション]をクリックし、必要に応じて設定を変える。**

お知らせ

- 通信中は、スタンバイ機能や休止状態機能を使わないでください。
- ケーブルを取り外すときは、突起部（C）を押さえたまま引き抜いてください。
- モデムは一般電話回線で使用してください。
- 本機のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

モデムリングリジューム機能

モデムに接続した回線に電話がかかると、パソコンがスタンバイ状態からリジュームします。
この機能を使うには、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアが必要です。また、リジュームした後パソコンをスタンバイ状態にする場合もソフトウェアが必要です。詳しくはソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

■ モデムリングリジューム機能を有効にする

1. **[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] - [モデム]をクリックし、内蔵モデムをダブルクリックする。**
2. **[電源の管理]をクリックし、[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]をクリックしてチェックマークを付け、[OK]をクリックする。**

■ パソコンがスタンバイ状態に戻る時間を設定する

通信が完了していなくても、設定時間後にパソコンがスタンバイ状態に入ります。[なし] に設定しておくと、通信の途中でスタンバイ状態に入ることはありませんが、リジュームした後スタンバイ状態に戻りません。

① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [電源設定]をクリックする。
② 通信時間を予測して、スタンバイ状態に戻る時間を設定する。

お知らせ

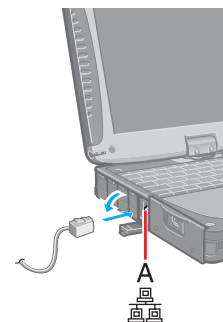
- パソコンの電源がオフのとき、または休止状態のときは、この機能は使えません。
- ACアダプターを接続してください。
- スタンバイ状態からリジュームした後も、画面は暗いままです。キーボードやフラットパッド、タッチパネル、タブレットボタンに触れると、元の画面が表示されます。
- 内蔵モデムに接続されている電話以外ではリジュームできません。(PCカードモデムなどは使えません。)
- パソコンが起動するのに時間がかかるため、通常より呼び出し時間を長く設定してください。送信側で呼び出し音を長く設定できない場合は、電話の待ち受け状態を保持できるソフトウェアで、着信までのベル回数を少なく設定してください。

LAN機能

LANを接続する

1 **パソコンの電源を切る。**
- スタンバイ機能や休止状態機能は使わないでください。

2 **カバーを開け、ケーブルを接続する。**
LANケーブルを使って、LANコネクター（A）とネットワークシステム（サーバーやハブなど）を接続します。

3 **パソコンの電源を入れる。**

Power On by LAN機能／有線LAN Wake Up機能

お知らせ

- 有線LAN Wake Up機能を有効にしていると、パソコンがスタンバイ・休止状態のときやパソコンの電源が切れている状態でも電力を消費します。必ずACアダプターをお使いください。
  有線LAN Wake Up機能を使わない場合は、この機能を無効にしてください。（➔55ページ）
- 次の場合はPower On by LAN機能は働きません。
  - 電源スイッチを4秒以上スライドさせてパソコンの電源を切ったとき（フリーズした後など）
  - ACアダプターとバッテリーパックをいったん取り外し、再度パソコンに取り付けたとき
- スタンバイ状態からリジュームした後も、画面は暗いままです。キーボード、フラットパッド、タッチパネル、タブレットボタンに触れると、元の画面が表示されます。

Power On by LAN 機能を有効にする

内蔵 LAN にネットワークサーバーからアクセスすると、自動的にパソコンの電源が入ります。

1 **セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「Power On by LAN機能」を「許可」に設定する。（➔77ページ）**

2 **「[重要]お知らせ」画面で、Enterを押す。**

3 **F10を押し、「はい」を選んでEnterを押す。**

4 **コンピューターの管理者の権限でWindowsにログオンする。**

5 **[スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] - [ネットワーク アダプタ]をクリックし、[Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[詳細設定]をクリックする。**

6 **[プロパティ]の[PMEをオンにする]をクリックし、[値]で[オン]を選択し、[OK]をクリックする。**

お知らせ

- ネットワーク上の別のパソコンが意図せずアクセスをすると、パソコンがリジュームすることがあります。
次の手順で、意図しないアクセスによるリジュームを防ぐことができます。
  ① [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] - [ネットワーク アダプタ]をクリックし、[Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[詳細設定]をクリックする。
  ② [プロパティ]の[Wake On 設定]をクリックし、[値]で[Wake On Magic Packet]を選択し、[OK]をクリックする。
- Windowsを強制終了すると、Power ON by LAN機能は働きません。

有線LAN Wake Up 機能を有効／無効にする

有線 LAN Wake Up 機能が有効なときに、内蔵 LAN にネットワークサーバーからアクセスすると、パソコンがスタンバイ状態や休止状態から自動的にリジュームします。（工場出荷時には、無効に設定されています。）

1. **[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] をクリックし、[ネットワークアダプタ] - [Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection] をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。**
2. **[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]と[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け（機能を有効にする場合）／外し（機能を無効にする場合）、[OK]をクリックする。**
   - 上記 2 つの項目のオン／オフ設定は同時に行うことをお勧めします。

お知らせ

- ネットワーク上の別のパソコンが意図せずアクセスをすると、パソコンがリジュームすることがあります。
  意図しないパソコンからのアクセスによるリジュームを防ぐには、次の設定を行ってください。
  ① [スタート] - [コントロール パネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイス マネージャ] - [ネットワーク アダプタ]をクリックし、[Intel(R) 82567LM Gigabit Network Connection]をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。
  ② [管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

無線機器をオン／オフする

< 無線 LAN、Bluetooth、ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ >

次の 3 通りの方法で、無線機器をオン／オフすることができます。

- パソコン左側面の無線切り替えスイッチを使う（下記）
- 無線切り替えユーティリティを使う（➔58 ページ）
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューを使う（➔78 ページ）
- 無線接続無効ユーティリティで設定する（➔59 ページ）

お知らせ

- 無線LANについて詳しくは ：➔61ページ
- Bluetoothについて詳しくは ：➔67ページ
- 無線LANのオン／オフは、LANケーブルの接続状態によって、自動的に切り替えることもできます。（➔59ページ）
- ワイヤレスWANについて詳しくは：➔無線機器の説明書をご覧ください。
- 本機のワイヤレスWAN機能を使用するためには、NTT ドコモのFOMA回線契約と、必要に応じてFOMA HIGH-SPEEDに対応したプロバイダー（mopera Uなど）との契約が必要です。

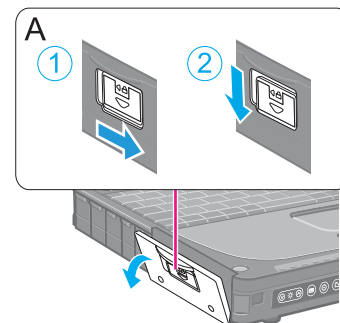
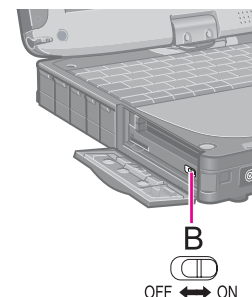
➔ デスクトップの [docomo ドコモ 回線のお申し込み] をダブルクリックし、[ドコモ 回線のお申し込み]のリンク先（http://askpc.panasonic.co.jp/dl/hspc/wwan/)の記載内容にしたがってください。

無線切り替えスイッチを使う

■ すべての無線機器をオフにする
すべての／特定の無線機器をオンにする

1 カバーを開ける。

① ラッチ（A）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。

② ラッチ（A）を押し下げて、カバーを開ける。

2 **無線切り替えスイッチ（B）をOFF側／ON側にスライドする。**

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティをアンインストールするときは、あらかじめ無線切り替えスイッチをON側にスライドさせてください。
- 無線切り替えスイッチの入／切を連続して繰り返し行わないでください。
- 無線切り替えスイッチの入／切の直後には、再起動やログオフをしたり、スタンバイ・休止状態に入ったりしないでください。
- Windowsの起動中は、無線切り替えスイッチの入／切をしないでください。
- 無線LAN／Bluetoothを使うには
  - セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線LAN」／「Bluetooth」／「ワイヤレスWAN」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔78ページ）
  - [ワイヤレスネットワーク接続]を[有効にする][*1]に設定してください。
  - 「ネットセレクター」で無線LANを選択してください。（➔69ページ）
- セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線スイッチ」を「無効」に設定する（➔78ページ）と、画面右下のタスクトレイに無線切り替えユーティリティアイコンが表示されなくなります。すべての無線機器（無線LAN／Bluetooth／ワイヤレスWAN）は、無線切り替えスイッチの状態とは関係なく、使用できる状態になります。
- 無線切り替えスイッチを切にしてから無線機器(無線LAN／Bluetooth／ワイヤレスWAN)の通信がオフになるまで、時間がかかることがあります。
- [デバイスマネージャ]でIEEE802.11a 設定を変更すると（➔63ページ）、それにともない状態表示も変わります。

[*1] [スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [ネットワーク接続] をクリックして、[ワイヤレスネットワーク接続] を右クリックする。

無線切り替えユーティリティを使う

無線切り替えユーティリティを使って、無線切り替えスイッチの設定を変更することができます。
また、画面右下のタスクトレイに表示される、無線切り替えユーティリティアイコンのポップアップウィンドウから、無線機器のオン／オフを切り替えることができます。
工場出荷時には、すべての無線機器がオンに設定されています。

■ 無線切り替えユーティリティアイコン

画面右下のタスクトレイの無線切り替えユーティリティアイコンは、無線機器の状態を表します。

- : 1 つ以上の無線機器が オンのとき
- : すべての無線機器が オフのとき
- : すべての無線機器がセットアップユーティリティで無効になっているとき（➔78 ページ）

■ 特定の無線機器をオン／オフする

1. **無線切り替えユーティリティアイコンをクリックし、ポップアップウィンドウを表示させる。**
2. **無線機器を選択してオン／オフを切り替える。**

■ 無線切り替えスイッチの設定を変更する

工場出荷時の設定では、無線切り替えスイッチを切にすると、切にする直前の各無線機器のオン／オフの状態が保存されます。再び無線切り替えスイッチを入にすると、各無線機器は切にする直前のオン／オフの状態に戻ります。この設定は変更することができます。

[毎回ダイアログを表示してオンするデバイスを選択する]
無線切り替えスイッチを入にしたとき[無線切り替えユーティリティ]画面が表示されます。その画面で無線機器ごとにオン／オフを設定し、[OK]をクリックしてください。（オン／オフの設定は[OK]をクリックするまで有効にはなりません。）
[以下のデバイスをオンする]
無線切り替えスイッチを入にしたとき、オンにしたい無線機器を選択してください。
[無線切り替えスイッチをオフした時のデバイスの状態に戻す]（工場出荷時の設定）
無線切り替えスイッチを入にしたとき、最後に無線切り替えスイッチを切にしたときのオン／オフ設定が選択されます。

1 **画面右下のタスクトレイの無線切り替えユーティリティアイコン（ または ）をクリックし、[設定]クリックする。**

2 **無線切り替えスイッチに割り当てたい設定を選択する。**

3 **[OK]をクリックする。**

無線接続無効ユーティリティ

無線接続無効ユーティリティの「LAN ケーブル監視」機能をオンにしていると、本機に LAN ケーブルを接続したときに、自動的に本機の無線 LAN がオフになります。
ご使用前に、以下の手順で無線接続無効ユーティリティをインストールしてください。

無線接続無効ユーティリティをインストールする

1 **コンピューターの管理者の権限でWindows にログオンする。**

2 **[スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックし、[c:¥util¥wdisable¥setup.exe] と入力して[OK]をクリックする。**
以降、画面の指示に従ってください。

無線接続無効ユーティリティの状態を確認する

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティがインストールされていないと、無線接続無効ユーティリティは働きません。（工場出荷時には、無線切り替えユーティリティはインストールされています。）
- ご使用前に、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線スイッチ」を「有効」に設定してください。（➔78ページ）
- 無線接続無効ユーティリティはBluetoothには働きません。

■ 無線接続無効ユーティリティアイコン

無線接続無効ユーティリティのインストール後、Windows にログオンすると、無線接続無効ユーティリティは自動的に起動します。

: 無線接続無効ユーティリティの「LAN ケーブル監視」機能がオンになっており、LAN ケーブルが接続されているため、無線 LAN がオフになっている。

: 無線接続無効ユーティリティの「LAN ケーブル監視」機能がオンになっており、LAN ケーブルが接続されていないため、無線 LAN がオンになっている。

: 以下のいずれかの状態です。

- 無線接続無効ユーティリティの「LAN ケーブル監視」機能がオフになっている
- 無線切り替えユーティリティが働いていない
- 内蔵 LAN がデバイスマネージャーで無効に設定されている、またはセットアップユーティリティの「詳細」メニューで「LAN」が「無効」に設定されている

■ 無線接続無効ユーティリティのメニュー

画面右下のタスクトレイの無線接続無効ユーティリティアイコンをクリックすると、次のようなメニューが表示されます。

✓ LANケーブル監視：オン (O)
LANケーブル監視：オフ (F)
バージョン情報 (V)
終了 (X)

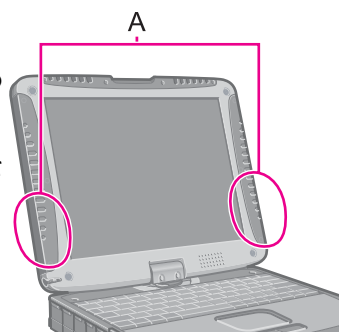
LAN ケーブル監視 : オン
無線接続無効ユーティリティの「LAN ケーブル監視」機能をオンにします。（LAN ケーブルが接続されると、自動的に無線 LAN がオフになります。）
LAN ケーブル監視 : オフ
無線接続無効ユーティリティの「LAN ケーブル監視」機能をオフにします。（LAN ケーブルの接続に関係なく、無線 LAN のオン／オフが可能になります。）
終了
無線接続無効ユーティリティを終了します。（LAN ケーブルの接続に関係なく、無線 LAN のオン／オフが可能になります。）

< 無線 LAN 内蔵モデルのみ >

お願い

- **無線LANを通じてパソコンに無断アクセスされないようにするには**
  無線LANをご使用になる前に、暗号化などのセキュリティ設定を行うことをお勧めします。設定をしないと、共有ファイルなどハードディスク上のデータに無断でアクセスされる危険性があります。

お知らせ

- 通信は無線LANアンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- ユーザーの簡易切り替え機能を使ってユーザーを切り替えた後、無線LANが使えなくなる場合があります。
- 電子レンジの近くでは通信速度が遅くなります。
- 無線LANを使うには、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「無線LAN」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔78ページ）
- タブレットモードで画面回転ツールを使っているとき、無線通信が一時的に妨げられる場合があります。

■ 無線LANをオン／オフする

➔56 ページ「無線機器をオン／オフする」

■ 無線LANの通信状態を確認する

➔58 ページ「無線切り替えユーティリティアイコン」

本機のネットワークの設定

1 **無線切り替えスイッチをスライドし、無線LANをオンにする。（****➔57ページ****）**

2 **画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」（ または ）をクリックする。**

- をクリックして[ワイヤレスネットワーク接続の状態]画面が表示された場合は、[ワイヤレスネットワークの表示]をクリックしてください。

3 **アクセスポイントに接続する。**

- 無線 LAN アクセスポイントに接続できるかどうか、次の操作で確認できます。
詳しくは、無線 LAN アクセスポイントに付属の説明書をご覧ください。

① 無線LANアクセスポイントの電源を入れて設定する。

② 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」 をクリックして確認する。

無線LANの規格IEEE802.11a （802.11a）の設定

無線 LAN の規格 IEEE802.11a の 5.2 GHz/5.3 GHz 帯（W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線 LAN の電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめ IEEE802.11a（W52、W53）を無効に設定しておいてください。
5.47GHz ～ 5.725GHz の周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

1 **コンピューターの管理者の権限でWindowsにログオンする。**
制限ユーザーでは、IEEE802.11aの有効／無効を切り替えることはできません。
コンピューターの管理者の権限でIEEE802.11aの有効／無効を切り替えると、制限ユーザーも同じ設定になります。

2 **画面右下のタスクトレイの または をクリックする。**

3 **[802.11a 無効]または[802.11a 有効]をクリックする。**

お知らせ

- 無線切り替えユーティリティアイコン（ または ）は、IEEE802.11aの設定ではなく、無線LANのオン／オフ状態を示しています。

- パソコンがIEEE802.11b/gアクセスポイントに接続されているときに、IEEE802.11aを有効または無効にすると、一時的に通信が途切れることがあります。
- [デバイスマネージャ]でも IEEE802.11a 設定を変更することができます。
  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]をクリックする。
  ② [ネットワークアダプタ] - [Intel(R) WiFi Link 5100 AGN]をダブルクリックする。
  ③ [詳細設定]をクリックし、[プロパティ]の[ワイヤレスモード]をクリックする。
  ④ [値]の[デフォルト値使用]からチェックマークを外し、設定（[802.11aおよび802.11g]など）を選択する。
  ⑤ [OK]をクリックする。
  無線切り替えユーティリティのポップアップウィンドウでIEEE802.11aを有効または無効にすると、[デバイスマネージャ]の設定により下記のように切り替わります。

デバイスマネージャの設定	無線切り替えユーティリティの設定	
	IEEE802.11a が有効のとき	IEEE802.11a が無効のとき
[802.11a、802.11b、802.11g] [802.11b と 802.11g]	a+b+g が有効	b+g が有効
[802.11g のみ] [802.11a と 802.11g]	a+g が有効	g が有効
[802.11a のみ] [802.11b のみ]	a が有効	b が有効

本機に暗号化を設定する

1 **画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」（ または ）を右クリックして、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする。**

2 **[ワイヤレスネットワーク接続]の[関連したタスク]から[優先ネットワークの順位の変更]をクリックする。**

3 **[優先ネットワーク]から無線LANアクセスポイントのネットワーク名をクリックし、[プロパティ]をクリックする。**

4 **無線LANアクセスポイントに設定した内容に従って暗号化などを設定する。**

5 **[OK]をクリックする。**

FREESPOTで使う

FREESPOT とは、無線 LAN でインターネットにアクセスできる環境を開放し、誰でもメールやインターネットを利用できるエリア・サービスのことです。
FREESPOT を利用するためには、無線 LAN の設定を FREESPOT 用に設定する必要があります。本機では、FREESPOT を簡単に利用できるようあらかじめ FREESPOT 用の設定が登録されています。
FREESPOT の設定場所や設定方法については、http://www.freespot.com/ をご覧ください。

お願い

- FREESPOTの設定場所に移動し、電波を受信できる環境で設定してください。
- 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面の[ワイヤレスネットワーク]の[プロパティ]では、[キーは自動的に提供される]のチェックマークを外し、[データの暗号化]、[ネットワーク認証]は設定しないでください。
- 屋外でFREESPOTを利用する場合は、IEEE802.11aを無効に設定してください。（➔62ページ）IEEE802.11aの5.2GHz/5.3GHz帯（W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線LANの電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめIEEE802.11a（W52、W53）を無効に設定しておいてください。
  5.47GHz～5.725GHzの周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

1 FREESPOTの設定を選択する。

① 画面右下のタスクトレイの「ワイヤレスネットワーク接続アイコン」（ または ）を右クリックして、[ネットワーク接続を開く]をクリックする。
② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]をクリックして選び、[ワイヤレスネットワーク]をクリックする。
③ [Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する]をクリックして、チェックマークを付ける。
④ [ワイヤレスネットワークの表示]をクリックし、[ワイヤレスネットワークの選択]の中から[FREESPOT]をクリックする。
⑤ [接続]をクリックする。

2 画面右下のタスクトレイの「ネットセレクターアイコン」 を右クリックしてネットセレクターのメニューを表示させ、[FREESPOT]をクリックする。

お知らせ

- [FREESPOT]をクリックすると、自動的にWindowsファイアウォールが有効になります。

無線LAN Wake Up機能を使う

無線LAN Wake Up機能を有効／無効にする

無線 LAN 経由でネットワークサーバーからアクセスすると、パソコンがスタンバイ状態や休止状態から自動的にリジュームします。（工場出荷時には、無効に設定されています。）

1 **[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] をクリックし、[ネットワークアダプタ] - [Intel(R) WiFi Link 5100 AGN]をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。**

2 **[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]と[このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け（機能を有効にする場合）／外し（機能を無効にする場合）、[OK]をクリックする。**

お願い

- 無線LAN Wake Up機能が有効に設定されていても、無線障害やパソコンが無線LANアクセスポイントの通信範囲外に移動したなど原因で、短時間でも無線接続が切断されると、無線LAN Wake Up機能は無効に切り替わります。
無線LAN Wake Up機能は、無線切り替えスイッチを切にしても （➔57ページ）、無効に切り替わります。
- 無線LAN Wake Up機能が有効に設定されていると、スタンバイ・休止状態のときに、無線LAN／Bluetooth／ワイヤレスWAN状態表示ランプが点灯します。これは無線LANが使用できることを表しており、必ずしも無線LANが通信状態というわけではありません。

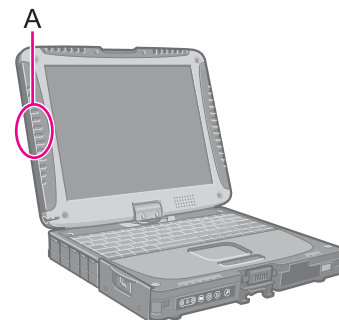
お知らせ

- ネットワーク上の別のパソコンが意図せずアクセスをすると、パソコンがリジュームすることがあります。
次の手順で、意図しないアクセスによるリジュームを防ぐことができます。
  ① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] をクリックし、[ネットワークアダプタ] - [Intel(R) WiFi Link 5100 AGN] をダブルクリックし、[電源の管理]をクリックする。
  ② [管理ステーションでのみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。

- 無線切り替えスイッチが入で、無線LAN Wake Up機能が有効に設定されていると、スタンバイまたは休止状態でも電力は消費されます。
- ad hocモードでは、無線LAN Wake Up機能は働きません。
- IEEE802.11nを選んだ場合、無線LAN Wake Up機能は働きません。

<Bluetooth 内蔵モデルのみ >
ケーブルを接続しないで、インターネットや他の Bluetooth 機器にアクセスすることができます。

お知らせ

- 通信はBluetoothアンテナ（A）を通じて行われます。手や体などでアンテナ部をふさがないでください。
- 電子レンジの近くでは通信速度が遅くなります。
- Bluetoothを使うには、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「Bluetooth」を「有効」（工場出荷時の設定）に設定してください。（➔78ページ）
- Bluetoothのドライバーをアンインストールしたときは、Bluetoothを切にしてください。

Bluetooth機能を使う

Bluetooth をお使いになる前に、Bluetooth 通信をオンにしてください。

Bluetooth通信をオン／オフする

1 **無線切り替えスイッチをスライドし、Bluetoothをオン／オフする。（➔56ページ）**

Bluetoothの通信状態を確認する

1 **画面右下のタスクトレイの「無線切り替えユーティリティアイコン」（ または ）にカーソルを合わせる。**
ツールチップが表示されます

■ オンラインマニュアルにアクセスする

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Bluetooth] - [ユーザーズ ガイド]をクリックする。**

ネットセレクター機能

自宅や会社、出張先など、いろいろな場所でネットワークに接続する場合、本機にインストールされているネットセレクターが便利です。

■ ネットセレクターはこんなときに使う

- ネットワークの接続方法を頻繁に切り替える
  例えば、自宅では ADSL、会社では LAN、出張先では別の LAN を使っている場合でも、ネットワークの設定（ネットワークプリンターを含む）を簡単に切り替えられます。
- プロバイダーやアクセスポイントなどの接続先を頻繁に切り替える
  例えば、プロバイダーは 1 つだが、出張が多くてその都度アクセスポイントを選択する場合でも、簡単にアクセスポイントの選択ができます。

■ ネットセレクターでできること

ダイヤルアップ	● ダイヤルアップ登録したインターネット接続設定などがネットセレクターの画面から使えます。
ネットワーク	● 会社などで使われているネットワークの設定を 9 件まで登録することができます。 ● 現在使用中の設定内容をそのまま登録することができます。 ● 通常使うプリンターに設定されているプリンターも、そのまま登録することができます。 ● ネットセレクターの画面からネットワークの設定や登録もできます。
接続方法	● LAN、無線 LAN[*1]、LAN ＋無線 LAN[*1] の 3 種類から選ぶことができます。

[*1] 無線 LAN 内蔵モデルのみ

ネットワークへの接続方法や接続先を切り替える

あらかじめ、モデム、LAN または無線 LAN[*2] など、ネットワークに接続できる設定にしておいてください。

1 ネットセレクターを表示する。

画面右下のタスクトレイの「ネットセレクターアイコン」をクリックする。

- ネットワーク関係の情報を収集するのに時間がかかり、ネットセレクターの起動が遅くなることがあります。
- パソコンを起動した後、初めてネットセレクターを起動した場合は、「ネットワーク設定」の画面が表示されます。2 回目以降は、前回使用していた画面（[接続方法] または [ネットワーク設定]）が表示されます。

2 [接続方法]または[ネットワーク設定]をクリックする。

3 接続アイテムをクリックし、 をクリックする。

4 インターネットやメール、ネットワークなどを利用する。

- ダイヤルアップ接続を切断するときは

① 画面右下のタスクトレイの をクリックする。

② [接続方法]画面のメニューボタンから をクリックする。

*2 無線 LAN 内蔵モデルのみ

お知らせ

- 全機能を利用できるのは、Internet Explorer 5.5/6.0、Outlook Express 5.5/6.0に限ります。
- Internet ExplorerやOutlook Expressでダイヤルアップ接続の既定値を変更した場合は、その設定が有効になります。
- ネットセレクターのウィンドウサイズを変更することはできません。
- Outlook Expressの[ツール] - [アカウント] - [メール] - [プロパティ]をクリックし、[接続]の[このアカウントには次の接続を使用する]にチェックマークを付けている場合は、その接続が有効になります。

- コンピューターの管理者の権限以外でログオンした場合
  - [ネットワーク設定]画面は表示されません。
  - [接続方法]画面：
    - ドメインの設定を行っていない場合、ダイヤルアップ接続の既定の接続アイテムを切り替えることはできません。

    ＜無線LAN内蔵モデルのみ＞
    - [LAN] と [無線 LAN] を統一して [LAN] と表示されます。[LAN] と [無線 LAN] を切り替えることはできません。また、LAN の機器名は表示されません。

ネットワークへの接続設定を登録する

会社では LAN、出張先では別の LAN を使うなど、ネットワークの接続方法を頻繁に切り替える必要がある場合、各ネットワークの接続方法をネットセレクターに登録しておくことができます。
登録しておけば、接続アイテムを選ぶだけで設定が切り替わります。

お知らせ

- モデムによるダイヤルアップの場合、Windowsで新しい接続を追加すれば、ネットセレクターで接続先を切り替えることができます。
- ネットワークへの接続設定の登録／変更／削除は、コンピューターの管理者の権限でログオンして行ってください。
- ネットセレクターに登録される設定内容は以下のとおりです。
  - IPアドレス
  - DNSアドレス
  - WINSアドレス
  - ゲートウェイ
  - ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定
  - LANおよび無線 LAN[*3]の有効／無効
  - 通常使うプリンターの設定
  - Windowsファイアウォールの状態
  - 通常使う接続の設定
- ネットワーク設定には、ネットワークに関する高度な知識が必要です。Windowsのネットワークに関する用語や意味を十分理解したうえで本機能を使用してください。

[*3] 無線 LAN 内蔵モデルのみ

ハードディスクドライブの取り付け／取り外し

ハードディスク内の重要なデータの流出を防ぐために、ハードディスクドライブを取り外すことができます。

お願い

- 重要なデータは、ハードディスクドライブを取り外す前に必ずバックアップを取っておいてください。
- 修理その他の目的で、別のパソコン上でハードディスクのデータを読み込む必要がある場合は、ハードディスクドライブを取り外す前に、セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで「ハードディスク保護」を「無効」に設定してください（➔80ページ）。
- ハードディスクドライブは衝撃に非常に弱いため、取り付け／取り外しを行う際には十分に注意してください。また、静電気によって内部の部品が故障する可能性があります。

1 **パソコンの電源を切り、ACアダプターを取り外す。**

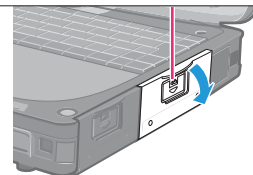
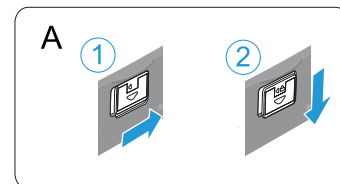
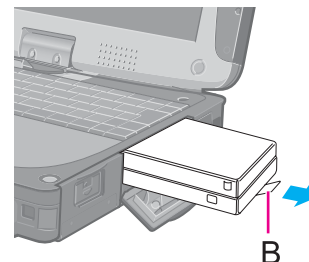
- スタンバイ機能や休止状態機能は使わないでください。

2 **バッテリーパックを取り外す（➔27ページ）。**

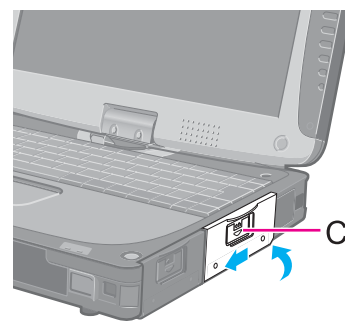
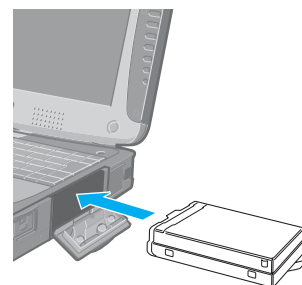
3 **ハードディスクドライブを取り付ける／取り外す。**

- 取り外すには

① ラッチ（A）を右側にスライドして、カバーのロックを外す。

② ラッチ（A）を押し下げて、カバーを開ける。

③ ハードディスクドライブのタブ（B）を引いて、スロットから取り出す。

- 取り付けるには

① スロットの奥までしっかりとハードディスクドライブを挿入する。

② カチッと音がするまでカバーを閉じ、ラッチ（C）をスライドしてカバーをロックする。

4 バッテリーパックを取り付ける （➔27ページ）。

お願い

- パソコンを持ち運ぶ際にハードディスクドライブが落ちないよう、ラッチが正しくロックされていることを確認してください。

お知らせ

- ハードディスクドライブを取り外す前に、データを消去することができます。（➔90ページ）
- セットアップユーティリティの「情報」メニューで、ハードディスクが認識されているかどうか確認できます（➔74ページ）。ハードディスクが認識されていない場合は、パソコンの電源を切って、再度取り付けてください。

パソコンの動作環境の設定（パスワード設定、起動ドライブの選択など）をすることができます。

セットアップユーティリティを起動する

1 **パソコンの電源を入れる、または再起動する。**

2 **パソコンの起動後すぐ、[Panasonic] 起動画面が表示されている間にF2またはDelを数回押す。**

「パスワードを入力してください」が表示されたら、パスワードを入力してください。

スーパーバイザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき

- セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

ユーザーパスワードで、セットアップユーティリティを起動したとき

- 次のようになります。
  - 「詳細」および「起動」メニューでは、すべての項目の設定を変更できません。
  - 「セキュリティ」メニューでは、「ユーザーパスワード保護」が「保護しない」に設定されている場合に、ユーザーパスワードのみ変更できます。ユーザーパスワードを削除することはできません。
  - 「終了」メニューでは、「デフォルト設定」および「デバイスを指定して起動」の設定はできません。
  - F9 （デフォルトの設定）は使えません。

情報メニュー

下線は工場出荷時の設定です。

項目	設定
言語（Language）	English <u>日本語（Japanese）</u>

製品情報

項目	設定
機種品番 製造番号	パソコン情報 (変更はできません)

システム情報

項目	設定
プロセッサータイプ プロセッサースピード メモリーサイズ 使用可能メモリー ハードディスク	パソコン情報 (変更はできません)

BIOS 情報

項目	設定
BIOS 電源コントローラー 累積使用時間 アクセスレベル	パソコン情報 (変更はできません)

メインメニュー

下線は工場出荷時の設定です。

項目	設定
システム日付 • 年／月／日 • Tab でカーソルの移動ができます。	[xxxx/xx/xx]
システム時間 • 24 時間制です。 • Tab でカーソルの移動ができます。	[xx:xx:xx]

メイン設定

項目	設定
フラットパッド	無効 有効
タッチパネルモード	タッチパネルモード タブレットモード 自動
現在の状態 • 「タッチパネルモード」が「自動」に設定されているときのみ表示されます。	—
Fn ／左 Ctrl キー	標準 入れ換え
ディスプレイ • Windows が起動するまでの表示先を設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、「外部ディスプレイ」を選んでいても、すべての情報が内部 LCD に表示されます。	外部ディスプレイ 内部 LCD
充電中バッテリー状態表示	点灯 明滅
Power On AC	無効 有効
LID スイッチ	無効 有効
環境	常温 高温 自動

現在の状態 ・「環境」が「自動」に設定されているときのみ表示されます。	バッテリーの状態によって、「常温」または「高温」のどちらかが表示されます。
▶Concealed Mode 設定	サブメニュー表示 *1

*1 「Concealed Mode 設定」を選択したときに表示されるサブメニュー

Concealed Mode	無効 有効
LCD バックライト ・「Concealed Mode」が有効に設定されているときのみ設定できます。	オン 最低輝度 オフ
LED ・「Concealed Mode」が有効に設定されているときのみ設定できます。 ・SD メモリーカード状態表示ランプ SD や、外部デバイスの LED には働きません。	オン オフ
サウンド ・「Concealed Mode」が有効に設定されているときのみ設定できます。	オン オフ
無線電波 ・「Concealed Mode」が有効に設定されているときのみ設定できます。	オン オフ

詳細メニュー

CPU 設定

下線は工場出荷時の設定です。

データ実行防止機能 ・「有効」にすると、ハードウェアデータ実行防止（DEP）機能が有効になります。	無効 有効
Core Multi-Processing	無効 有効
Intel（R）Virtualization Technology	無効 有効
Intel（R）Trusted ExecutionTechnology	無効 有効

周辺機器設定

項目	設定
▶ シリアルポート設定 • シリアルポート A ／ B および GPS を設定します。	サブメニュー表示 *2
LAN	無効 有効
Power On by LAN 機能 •「LAN」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。 • [Power On by LAN 機能] を使うには、[デバイス マネージャ] でも設定が必要です。（➔53 ページ）	禁止 許可

*2 「シリアルポート設定」を選択したときに表示されるサブメニュー

項目	設定
シリアルポートA	無効 有効 自動
I/O IRQ •「シリアルポートA」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ7 2E8/IRQ5
シリアルポートB	無効 有効 自動
I/O IRQ •「シリアルポートB」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ7 2E8/IRQ5
GPS • GPS内蔵モデルのみ	無効 有効 自動
I/O IRQ •「シリアルポートA」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。 •「GPS」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	3F8/IRQ4 2F8/IRQ3 3E8/IRQ7 2E8/IRQ5

下線は工場出荷時の設定です。

項目	設定
無線スイッチ	無効 有効
無線 LAN • 無線 LAN 内蔵モデルのみ	無効 有効
ワイヤレス WAN • ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ	無効 有効
Bluetooth • Bluetooth 内蔵モデルのみ	無効 有効
モデム • モデム内蔵モデルのみ	無効 有効
ExpressCard スロット • エクスプレスカードスロット内蔵モデルのみ	無効 有効
PC カードスロット	無効 有効
SD スロット	無効 有効
IEEE1394 ポート	無効 有効
スマートカード • スマートカードスロット内蔵モデルのみ	無効 有効
USB ポート	無効 有効
ポートリプリケーター USB ポート • 設定を変更する必要はありません。	無効 有効
レガシー USB • 「USB ポート」または「ポートリプリケーター USB ポート」が「有効」に設定されているときのみ設定できます。	無効 有効

起動メニュー

起動オプション優先度

起動オプション #1 起動オプション #2 起動オプション #3 起動オプション #4 起動オプション #5	USB フロッピー [*3] ハードディスク USB CD/DVD ドライブ LAN USB ハードディスク

■ 起動順位を変更するには

工場出荷時の起動順位は「USB フロッピー [*3]」→「ハードディスク」→「USB CD/DVD ドライブ」→「LAN」→「USB ハードディスク」です。

● 変更したい起動デバイス上で **Enter** を押し、起動デバイスを下記のメニューから選んでください。
- 新たに選択した起動デバイスが、すでに「起動オプション (#1 ～ #5)」のいずれかにある場合、元の起動デバイスと、新たに選択した起動デバイスの起動順位が入れ替わります。
- 以下のメニューで「無効」を選んだ場合、無効になった「起動オプション」は認識されず、その次の起動デバイスが作動します。

ハードディスク LAN USB フロッピー [*3] USB ハードディスク USB CD/DVD ドライブ 無効

[*3] 当社製 USB フロッピーディスクドライブ（別売り：CF-VFDU03U）

セキュリティメニュー

起動時の表示設定

下線は工場出荷時の設定です。

Setup Utility 表示 • 「Setup Utility 表示」が「無効」になっていると、[Press F2 for Setup/F12 for LAN] というメッセージが [Panasonic] 起動画面に表示されません。ただし、メッセージが表示されなくても F2 と F12 は働きます。	無効 有効
起動時のパスワード	無効 有効
スーパーバイザーパスワード設定	サブメニュー表示
ハードディスク保護 • 「スーパーバイザーパスワード設定」が設定されているときのみ変更できます。	無効 有効
ユーザーパスワード保護	保護する 保護しない
ユーザーパスワード設定 • 「スーパーバイザーパスワード設定」が設定されているときのみ変更できます。	サブメニュー表示
▶ 内蔵セキュリティ（TPM） • 内蔵セキュリティ（TPM）内蔵モデルのみ • 詳しくは『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックし、「c:¥util¥drivers¥tpm¥readme.pdf」と入力し、[OK] をクリックしてください。	サブメニュー表示
▶AMT 設定 • Intel(R) AMT 対応モデルのみ	サブメニュー表示

終了メニュー

設定を保存して再起動	設定内容を保存して再起動する
設定を保存しないで再起動	設定内容を保存せずに再起動する

保存オプション

設定を保存する	設定内容を保存する
設定を戻す	設定内容を変更前の設定に戻す
デフォルト設定	工場出荷時の設定に戻す

デバイスを指定して起動

(デバイス情報)	次の起動時にのみ作動するデバイスを選択する

▶ 診断ユーティリティ	診断ユーティリティを実行する

画面の項目表示を拡大する

文字やアイコン、タイトルバー、マウスカーソルなどを拡大表示できます。

お願い

- ディスプレイの解像度を1024 x 768ドット未満に設定すると、フォントサイズ拡大ツールは起動しません。

お知らせ

- 拡大表示すると、メニューの一部や画面上の項目の一部が隠れて見えなくなることがあります。その場合は、カーソルをメニュー上に移動させてポップアップを表示させたり、画面をスクロールさせたりするなどの機能を使って、隠れた項目を表示させてください。
- フォントサイズ拡大設定は、Internet Explorer上で表示されるWebページの文字や、Outlook Express上の電子メールの文字にも影響します。ただし、Webページや電子メールの文字の中には、拡大表示されないものもあります。

準備

フォントサイズ拡大ツールを使用する前に、すべてのアプリケーションソフトを終了してください。

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [フォントサイズ拡大]をクリックする。**

2 **サイズを選択する。**

3 **[OK]をクリックする。**

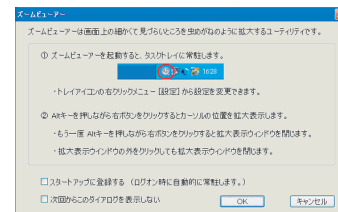
設定したサイズで画面が表示されます。

画面の一部を拡大することができます。

ズームビューアーを起動する

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [ズームビューアー]をクリックする。**

2 **[OK]をクリックする。**

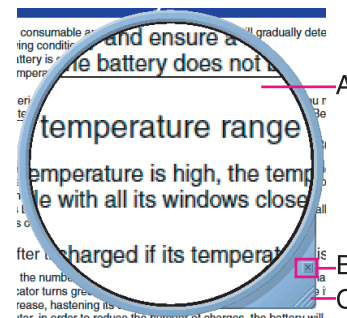
- 画面右下のタスクトレイに が表示されます。

ズームビューアーを使う

1 **画面上の拡大したい部分にカーソル を合わせる。**

2 **Altを押したまま右クリックする。**

- カーソルを合わせた部分が拡大されます。
- をダブルクリックするか、 を右クリックし [表示する] をクリックしても拡大できます。

3 **拡大表示ウィンドウ（A）をドラッグして、拡大表示される部分を動かす。**

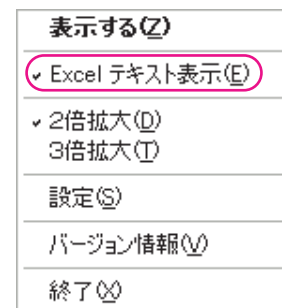
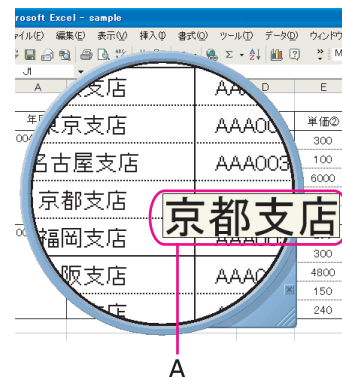
- 拡大表示ウィンドウを非表示にするには、 （非表示ボタン）（B）をクリックする。または、拡大表示ウィンドウの一部をクリックするか、Alt を押したまま右クリックしてください。
- 拡大表示ウィンドウのサイズを変更するには、右下の隅（C）をドラッグしてください。
拡大／縮小できるサイズの範囲は、画面の解像度により異なります。

お知らせ

- 拡大表示ウィンドウの中のテキストや画像は、拡大表示された瞬間（例：**Alt**を押したまま右クリックした瞬間）のものになります。元の画面で変更した内容を拡大表示ウィンドウに反映するには、拡大表示ウィンドウをクリックしてください。
- アプリケーションソフトによっては、ズームビューアーが働かない場合があります。

■ Excelのセルの文字を拡大表示するには

拡大表示ウィンドウの中央にあるセルの文字を、テキスト表示ウィンドウ（A）に大きく表示することができます。

① 画面右下のタスクトレイの を右クリックする。

② [Excelテキスト表示]にチェックマークを付ける。
- 工場出荷時はチェックマークが付いています。
- チェックマークを外すと、テキスト表示ウィンドウは表示されません。

お知らせ

- 次の場合、テキスト表示ウィンドウは表示されません。
  - お使いのExcelが、Microsoft® Excel 2000／Microsoft® Excel 2002／Microsoft® Office Excel 2003よりも前のバージョンの場合
    （上記よりも前のバージョンには対応していません。）
  - セル以外（テキストボックス、コメント、グラフなど）の文字の場合
  - 印刷プレビュー画面の場合
  - テンプレートを使用してファイルを新規作成し、そのファイルを保存していない状態（保存するとテキスト表示ウィンドウが表示されます。）
- 複数のウィンドウで、同じ名前のファイルを開いているときは、テキスト表示ウィンドウが表示されない場合があります。また、ファイルによってもテキスト表示ウィンドウが表示されない場合があります。

- テキスト表示ウィンドウで表示される文字は、1番手前に表示されているExcelファイル（選択されているExcelファイル）の拡大表示ウィンドウの中央にあるセルの文字です。
- セルからはみ出した文字上にカーソルがあった場合は、テキスト表示ウィンドウは表示されません。はみ出した文字が格納されているセル上にカーソル（拡大表示ウィンドウの中央部分）を移動させてください。

ズームビューアーを設定する

1 **画面右下のタスクトレイの を右クリックする。**

2 **[設定]をクリックする。**

[表示／非表示のショートカットキーの割り当て]

- 外部マウス／フラットパッドを使用するとき

① [マウス／タッチパッド]をクリックする。

② **Alt**、 **Ctrl**、 **Shift**の中から組み合わせるキーをクリックし、チェックマークを付ける。（複数キーの組み合わせが可能です。例：**Ctrl** + **Alt**）

③ [右クリック]または[左クリック]のいずれかのうち、上記の手順②で選択したキーと組み合わせて使うものを選択してください。

- キーボードを使用するとき

① [キーボード]をクリックする。

② エディットボックスをクリックし、ショートカット用に使うキーを押す。（例：**Alt** + **Z**、 **Ctrl** + **Alt** + **Z**など）

[ウインドウデザイン]

拡大表示ウィンドウの形を選択します。

[自動起動]

[スタートアップに登録する]にチェックマークを付けると、Windows起動時にズームビューアーが自動的に起動します。

3 **[OK]をクリックする。**

ハードウェアの自己診断機能

本機のハードウェアが正常に動作していない可能性がある場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って診断することができます。
ハードウェアに問題が発見されたときは、当社のご相談窓口にご相談ください。
このユーティリティでソフトウェアを診断することはできません。

PC-Diagnostic ユーティリティで診断できるハードウェア

- CPU
- メモリー
- ハードディスク
- ビデオコントローラー
- サウンドコントローラー [*1]
- モデム [*2]
- LAN 機能
- 無線 LAN 機能 [*3]
- Bluetooth 機能 [*4]
- GPS [*5]
- USB
- IEEE 1394 機器
- PC カードコントローラー
- SD カードコントローラー
- ExpressCard コントローラー [*6]
- スマートカードコントローラー [*7]
- シリアルポート
- キーボード
- フラットパッド
- タッチパネル

*1 Windows メニューで音声をオフにしている場合や、「Concealed Mode 設定」で「サウンド」をオフにしている場合は、ビープ音は鳴りません。

*2 モデム内蔵モデルのみ

*3 無線 LAN 内蔵モデルのみ

*4 Bluetooth 内蔵モデルのみ

*5 GPS 内蔵モデルのみ

*6 エクスプレスカードスロット内蔵モデルのみ

*7 スマートカードスロット内蔵モデルのみ

- ビデオコントローラー診断の実行中に、画面が乱れることがあります。また、サウンドコントローラー診断の実行中に、スピーカーから音が出ることがあります。いずれも故障ではありません。

PC-Diagnostic ユーティリティについて

お知らせ

- ハードディスクとメモリーについては、標準診断と拡張診断のいずれかを選択できます。
  PC-Diagnostic ユーティリティが起動すると、標準診断がスタートします。

- 操作にはフラットパッドを使用することをお勧めします。フラットパッドを使わない場合は、内蔵キーボードをお使いください。

操作内容	フラットパッド操作	内蔵キーボード操作
アイコンを選ぶ。	アイコンの上にカーソルを置く。	**Space** を押し、**→** **←** **↑** **↓** を押す（⊠（閉じる）は選択できません）。
アイコンをクリックする。	クリックする（右クリックは使えません）。	アイコンの上で **Space** を押す。
PC-Diagnostics ユーティリティを終了し、パソコンを再起動する。	⊠（閉じる）をクリックする。	**Ctrl** + **Alt** + **Del** を押す。

- フラットパッドが正常に動作しない場合は、 **Ctrl** + **Alt** + **Del** を押すか、電源スイッチを押して電源を切り、パソコンを再度起動してから PC-Diagnostic ユーティリティを起動してください。

診断を実行する

セットアップユーティリティの設定を工場出荷時の状態に戻して診断を実行してください。
セットアップユーティリティまたはその他の設定でハードウェアが無効になっていると、そのハードウェアのアイコンがグレー表示されます。下記の方法のほかに、セットアップユーティリティの「終了」メニューの「診断ユーティリティ」から診断を実行する方法もあります（➔81 ページ）。

1 AC アダプターを接続する。

診断が完了するまで、AC アダプターを取り外したり、周辺機器を取り付けたりしないでください。

2 無線切り替えスイッチ（➔56ページ）の電源を入れる。

3 パソコンの電源を入れるか再起動し、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。

セットアップユーティリティが起動します。

- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
- セットアップユーティリティを工場出荷時の設定から変更している場合は、設定をメモしておくことをお勧めします。

4 F9 を押す。

確認メッセージで [はい] を選択して Enter を押してください。

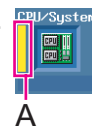
5 F10 を押す。

確認メッセージで [はい] を選択して Enter を押してください。
パソコンが再起動します。

6 [Panasonic] 起動画面が表示されている間に、画面下に「Please Wait」と表示されるまで Ctrl + F7 を押す。

PC-Diagnostic ユーティリティが起動すると、すべてのハードウェアの診断が順番に始まります。

- パスワード入力画面が表示されたら、パスワードを入力してください。
- ハードウェアアイコンの左側のバー（A）が青色と黄色に交互に点滅し始めるまで、フラットパッドと内蔵キーボードは使えません。
- 画面上のアイコンをクリックして、次の操作をすることができます。
  - ▷ : 診断を最初から実行する。
  - □ : 診断を中止する。（▷ をクリックしても、途中から再開することはできません）
  - i : ヘルプを表示する。（画面をクリックするか、 Space を押すと元の画面に戻ります）

CPU/System
A

- 診断状況は、ハードウェアアイコンの左側に表示されるバー（A）の色で確認できます。
  - 水色：診断を実行していません。
  - 青色と黄色が交互に点滅：診断を実行中です。点滅の間隔は、標準診断か拡張診断かにより異なります。メモリー診断の場合は、画面が長い間停止状態になる場合があります。診断が終了するまでお待ちください。
  - 緑色：問題は見つかりませんでした。
  - 赤色：問題が見つかりました。

お知らせ

- 以下の手順で、特定のハードウェアの診断を実行したり、メモリーやハードディスクの拡張診断を実行したりすることができます（拡張診断はメモリーとハードディスク専用に用意されています）。拡張診断は詳細な診断を行うため、実行が終了するまでにより多くの時間がかかります。

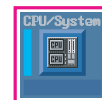
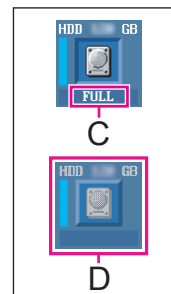
B

例：ハードディスク

C
D

① をクリックして診断を中止する。

② 診断しないハードウェアのアイコンをクリックし、グレー表示（B）させる。
メモリーまたはハードディスクの診断を実行しているときは、アイコンを一度クリックすると拡張診断（「FULL」（C）がアイコンの下に表示されます）になりますので、再度クリックしてアイコンをグレー表示（D）させてください。

③ をクリックして診断を開始する。

7 すべてのハードウェアの診断が終わったら、診断結果を確認する。

バーの色が赤色になり、「Check Result TEST FAILED」が表示されたら、ハードウェアに問題があると考えられます。赤色のハードウェアを確認し、ご相談窓口にご相談ください。
バーの色が緑色になり、「Check Result TEST PASSED」が表示されたら、ハードウェアは正常に動作しています。そのままパソコンをお使いください。それでもパソコンが正しく動作しない場合は、ソフトウェアを再インストールしてください（⇒『取扱説明書』「再インストールする」）。

お知らせ

- RAM モジュール（別売り）を増設してメモリーの診断を実行し、「Check Result TEST FAILED」が表示された場合は、増設した RAM モジュールを取り外し、診断を実行してください。再び「Check Result TEST FAILED」のメッセージが表示された場合は、内蔵 RAM モジュールに問題があると考えられます。

8 ☒（閉じる）をクリックするか、**Ctrl** + **Alt** + **Del** を押してパソコンを再起動する。

パソコンを廃棄または譲渡する場合には、データが流出しないよう、ハードディスクのデータをすべて消去してください。通常の Windows メニューでデータの消去やハードディスクの初期化を行った場合でも、特殊なソフトウェアを使うと、消去されたデータが読み出される可能性があります。ハードディスクデータ消去ユーティリティを使って、データをすべて消去してください。
市販のソフトウェアをアンインストールせずに譲渡すると、ソフトウェア使用許諾契約に違反するおそれがありますのでご注意ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティでは、データを上書きする方法を用いていますが、誤動作や誤操作が起こると、データが完全に消去されない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性があります。非常に機密性の高いデータを消去する必要がある場合には、専門業者に依頼することをお勧めします。また、このユーティリティの使用により生じた損失や損害については補償いたしかねます。

お願い

- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けのハードディスクには働きません。
- 実行すると、ハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷したハードディスクのデータは消去できません。

お知らせ

- ハードディスクのデータを消去しても、DVD-Videoのリージョンコードを設定できる回数はリセットされません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。

準備

- すべての周辺機器を取り外す。
- AC アダプターを接続する。(操作が完了するまで取り外さないでください。)

1 **パソコンの電源を切って、CD/DVD ドライブをUSBポートに接続する。**

2 **パソコンの電源を入れて、[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**

セットアップユーティリティが起動します。

- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

3 **F9 を押す。**

確認メッセージが表示されたら「はい」を選び、 Enter を押してください。

4 **F10 を押す。**

確認メッセージが表示されたら「はい」を選び、 Enter を押してください。

5 **[Panasonic] 起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**

セットアップユーティリティが起動します。

- パスワード入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。

6 **CD/DVD ドライブにWindows XP用プロダクトリカバリー DVD-ROM をセットする。**

7 **「終了」メニューを選び、「デバイスを指定して起動」で接続したCD/DVDドライブを選ぶ。**

8 **Enter を押す。**

パソコンが再起動します。

- 「パスワードを入力してください」が表示されたら、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。

9 **2 を押して「2.［HDD 消去］」を実行する。**

- 操作を中止する場合は、 0 （ゼロ）を押してください。

10 **確認メッセージが表示されたら、 Y を押す。**

11 **「<<< スタートメニュー >>>」で Enter を押す。**

データ消去にかかるおおよその時間が表示されます。

12 **Space を押す。**

確認メッセージが表示されたら、 Enter を押してください。

ハードディスクのデータ消去が始まります。操作が完了すると、「ハードディスクのデータは消去されました」というメッセージが表示されます。何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

- 万一、途中で消去を中断する場合は、 Ctrl + C を押して中断することができますが、すでに消去されたデータは復元されません。

13 **プロダクトリカバリー DVD-ROMを取り出し、いずれかのキーを押してパソコンの電源を切る。**

使用できる画面解像度

下記の解像度のみ使用できます。他の解像度は選択しないでください。

- 800 x 600、1024 x 768、1280 x 768、1280 x 1024、1440 x 900 ドット

ネットワーク接続と通信ソフトウェアについて

省電力機能は、通信ソフトウェアを終了してからお使いください。

- 通信ソフトウェアを使用中に省電力機能（スタンバイ機能や休止状態機能）が働くと、ネットワーク接続が切れたり、パフォーマンスが低下したりすることがあります。その場合はパソコンを再起動してください。
- ネットワーク環境でお使いのときは、[システムスタンバイ]と[システム休止状態]を[なし]に設定することをお勧めします。
  [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [電源設定]をクリックしてください。

Windows XP について

コントロールパネルのクラシック表示やクラシックスタートメニューを選択することができます。また、ユーザーのログオン／ログオフのしかたを変更することもできます。本書では、クラシック表示やクラシックスタートメニューではなく、Windows XP の初期設定を用いて説明しています。

- **Windows Update について**
  Windows セキュリティセンターで [自動更新] を有効に設定している場合は、セキュリティの更新など、重要な更新が自動的にインストールされます。手動で更新を行う場合（重要な更新以外の更新を行う場合など）は、以下の手順で行ってください。
  ① コンピューターの管理者の権限でログオンする。
  ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [Windows Update] をクリックする。
  ③ 画面の指示に従って更新プログラムをインストールする。
  - デバイスドライバーの更新プログラム（「カスタムインストール」の「ハードウェア用の更新プログラムを追加で選択」に表示される項目）は適用しないでください。お使いのパソコンと互換性がない場合があります。詳しくは、弊社の Web ページ（http://askpc.panasonic.co.jp/security/index.html）をご覧ください。
  - 再インストールした後も必ず [Windows Update] を行ってください。インストールした更新プログラムの種類により、さらに更新プログラムが提供されている場合があります。プログラムの更新後に再度 Windows Update を実行してください。

- 「コンピューターが危険にさらされている可能性があります。」というメッセージが表示されたら
  画面右下のタスクトレイの をクリックし、必要な設定をしてください。Windows セキュリティセンターは、パソコンを快適な状態でお使いいただくため定期的に通知を行いますが、エラーメッセージではありませんので、そのままパソコンをお使いいただけます。ただし、ウイルスなどの危険にさらされないよう、適切な対策を行うことをお勧めします。

Windows関連ファイルについて

市販の Windows CD-ROM に収められているファイルは、下記のフォルダーにインストールされています。
<Windows XP Professional のみ >
c:¥windows¥docs、c:¥windows¥dotnetfx、c:¥windows¥i386、c:¥windows¥support、c:¥windows¥valueadd
<Windows XP Tablet PC Edition のみ >
c:¥windows¥docs、c:¥windows¥dotnetfx、c:¥windows¥i386、c:¥windows¥support、c:¥windows¥valueadd、c:¥windows¥cmpnents

シリアル機器について

本機の COM ポートは、下記のように割り当てられています。
- COM1 : シリアルポート A
- COM2 : シリアルポート B（将来の拡張用です。）
- COM3 : GPS（GPS 内蔵モデルのみ）

設定を変更すると、シリアル機器が正常に動作しないことがあります。

エラーコードやメッセージが表示された場合は、下記の対処の説明に従ってください。それでも解決できない場合、または下記以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード／メッセージ	対処
システム CMOS 値が正しくありません。 **システム CMOS のチェックサムが正しくありません。**	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、メモリーの内容が変更された場合に起こるエラーです。 ● セットアップユーティリティを起動し、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
日付と時刻の設定が正しくありません。01/01/2008 に設定しました。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ● セットアップユーティリティを起動し、日付と時刻を正しく設定してください。 ● それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
<F2> **キーを押すとセットアップを起動します。**	● エラー内容をメモした後、 F2 または Del を押してセットアップユーティリティを起動してください。必要に応じて設定を変更してください。
RAM **モジュールエラーです。**	RAM モジュールが正しく取り付けられていなかったり、指定以外の RAM モジュールが取り付けられていたりすると、パソコンの電源を入れたときにビープ音が鳴り、「RAM モジュールエラーです。」というメッセージが表示されます。 ● 電源スイッチを 4 秒間以上押し続けてパソコンの電源を切り、RAM モジュールの仕様が指定のものであることを確認し、正しく取り付け直してください。

トラブルが発生した場合は、以下の方法をお試しください。以下の方法でも解決しない場合は、当社ご相談窓口にご相談ください。ソフトウェアに関する問題は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
- パソコンの使用状態を確認するには（➔106 ページ）

■ 終了時

Windows の終了または再起動ができない 。	● USB 機器を取り外してください。 ● 終了するまで 1 ～ 2 分かかる場合があります。

■ ディスプレイ

Fn+**F2** を押しても画面が明るくならない。	● 「Concealed Mode 設定」の「LCD バックライト」が「オフ」になっている可能性があります。 **Fn**+**F8** を押して Concealed Mode を解除してください。

■ スタンバイ・休止状態機能

スタンバイまたは休止状態に入ることができない。	● USB 機器をいったん取り外してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 ● スタンバイ・休止状態に入るまで 1 ～ 2 分かかる場合があります。 ● モデム経由で通信している場合、パソコンがスタンバイ状態に入らないことがあります。 ● リジューム直後はスタンバイ・休止状態には入りません。約 1 分お待ちください。
自動的にスタンバイまたは休止状態に入らない。	● 周辺機器を取り外してください。 ● 無線機器を使わない場合は、無線機器の電源を切ってください（➔56 ページ）。 ● ハードディスクに定期的にアクセスするソフトウェアを使っていないか確認してください。
パソコンがリジュームしない。	● 電源スイッチを 4 秒以上スライドさせると、パソコンが強制終了し、リジュームしません。その場合、保存されていないデータはすべて失われます。 ● パソコンがスタンバイ状態のときに、AC アダプターとバッテリーパックを取り外しませんでしたか？スタンバイ中に電力の供給がなくなると、保存されていないデータは失われ、パソコンはリジュームしません。 ● バッテリー残量がありません。スタンバイまたは休止状態でも電力は消費されます。

■ サウンド

音が聞こえない。	● **Fn**+**F4** または **Fn**+**F6** を押してミュートを解除してください。 ● **Fn**+**F8** を押して Condealed Mode を解除してください。 ● パソコンを再起動してください。
音が乱れる。	● **Fn** とのキーの組み合わせによる操作をすると、音が乱れることがあります。再生をいったん停止し、再生し直してください。
Fn+**F5** または **Fn**+**F6** で音量を変更できない。	● Windows のサウンド機能を有効に設定してください。サウンド機能が働いていないと、が表示されても音量は変化しません。 ● **Fn**+**F8** を押して Condealed Mode を解除してください。

■ キーボード

日本語が入力できない。	● **半角 / 全角**を押して日本語入力モードにしてください。
数字しか入力できない。	● NumLK ランプ 1 の点灯中は、キーボードがテンキーモードになっています。**NumLk** を押して解除してください。
大文字しか入力できない。	● Caps Lock ランプ A の点灯中は、キーボードが大文字入力モードになっています。 **Shift**+**Caps Lock** を押して解除してください。
特殊文字（ß、à、ç など）や記号が入力できない。	● 文字コード表を使ってください。[スタート] - [すべてのプログラム]- [アクセサリ] - [システムツール] - [文字コード表] をクリックしてください。
タブレットモードでキーボードを使うことができない。	<Windows XP Professional のみ > ● ソフトウェアキーボードを使ってください。（➔8 ページ） <Windows XP Tablet PC Edition のみ > ● Tablet PC 入力パネルを使ってください。（詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。）

■ 画面回転

ラップトップモードとタブレットモードを切り替えたとき、画面が自動的に回転しない。	● それぞれのモードの標準角度を正しく設定してください。（➔12 ページ） ● ユーザーの簡易切り替え機能でユーザーの切り替え処理が終わるまでは、モードを切り替えないでください。
画面を回転できない。	● 起動中のアプリケーションソフトをすべて閉じてください。
フラットパッドやタッチパネルの操作と画面の回転角度が合わない。	● Windows を起動した直後は、操作と画面の回転角度は合いません。 ● アプリケーションによっては操作と画面の回転角度は合いません。また、[画面のプロパティ] や Intel® GMA Driver for Mobile で画面設定を変更した場合も、操作と画面の回転角度は合いません。

■ ネットワーク

ネットワークに接続できない。	● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「LAN」または「LAN」と「モデム」を「有効」に設定してください。（➔77 ページ）
パソコンの MAC アドレスが確認できない。	● 次の手順を行ってください。 ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする。 ② [ipconfig/all]と入力し**Enter**を押す。 ③ 有線LANまたは無線LAN（無線LAN内蔵モデルのみ）の、[Physical Address]と表示された行の12けたの英数字をメモする。 ④ [exit]と入力し**Enter**を押す。

■ 無線通信（無線LAN／Bluetooth／ワイヤレスWAN内蔵モデルのみ）

ネットワークに接続できない。	● 無線切り替えスイッチをスライドし、無線機器をオンにしてください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「無線 LAN」／「Bluetooth」／「ワイヤレス WAN」を「有効」に設定してください。（➔78 ページ） ● 無線接続無効ユーティリティの「LAN ケーブル監視」機能をオフにしてください。 ● パソコンを再起動してください。

■ 無線通信（無線LAN／Bluetooth／ワイヤレスWAN内蔵モデルのみ）

無線 LAN のアクセスポイントが検出されない。 アクセスポイントと通信できない。	● 無線 LAN の電源を入れた直後、または IEEE802.11a を有効にした直後は、アクセスポイントが検出されません。以下の手順で検出してください。 ① 画面右下のタスクトレイの または を右クリックする。 ② [利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックして、[ネットワークの一覧を最新の情報に更新]をクリックする。 • ワイヤレスネットワーク接続 ① 画面右下のタスクトレイの または を右クリックして、[ネットワーク接続を開く]をクリックする。 ② [ネットワーク接続]画面の[ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックして、[無効にする]が表示されていることを確認する。 [有効にする]が表示されている場合は、無線LANが無効です。[有効にする]をクリックしてください。 • ワイヤレスオン ① [ネットワーク接続]画面を開く（上記「ワイヤレスネットワーク接続」の手順①）。 ② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックして、[プロパティ] - [全般] - [構成] - [詳細設定]をクリックする。 ③ [ワイヤレスオン]と表示されていることを確認する。 [ワイヤレスオフ]と表示されている場合は、[ワイヤレスオフ]をクリックし、[ワイヤレスオン]をクリックしてください。

■ 無線通信（無線LAN／Bluetooth／ワイヤレスWAN内蔵モデルのみ）

無線 LAN のアクセスポイントが検出されない。 アクセスポイントと通信できない。 （つづき）	● パソコンどうしが、直接通信を行う方式（ad hoc モード）になっていないか確認してください。 ① [ネットワーク接続]画面を開く（➔98ページ「ワイヤレスネットワーク接続」の手順①）。 ② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックして、[プロパティ] - [ワイヤレスネットワーク]をクリックする。 ③ [詳細設定]をクリックする。 ④ [コンピュータ相互（ad hoc）のネットワークのみ]が選択されている場合は、[利用可能なネットワーク（アクセスポイント優先）]をクリックする。 ● [ワイヤレスネットワークの選択] 画面で、接続するアクセスポイントの右側に「オンデマンド」または「手動」と表示されている場合は、アクセスポイントをクリックして、[接続] をクリックしてください。 自動接続するには、下記の手順に従ってください。 • 「オンデマンド」と表示されている場合： アクセスポイントが通信範囲内にあっても、自動で接続しないように設定されています。自動接続するには以下の設定を行ってください。 ①「関連したタスク」にある「優先ネットワークの順位の変更」をクリックする。 ②「優先ネットワーク」から接続するアクセスポイントをクリックし、[プロパティ]をクリックする。 ③ [接続]をクリックする。 ④「自動接続」の[このネットワークが範囲内にあるとき接続する]にチェックマークを付け、[OK]をクリックする。 次回からは自動接続されます。 • [手動] と表示されている場合： 前回、接続中のアクセスポイントを切断したため、手動接続になっています。一度接続し直すと、次回からは自動で接続されます。

■ 無線通信（無線LAN／Bluetooth／ワイヤレスWAN内蔵モデルのみ）

無線 LAN のアクセスポイントが検出されない。 アクセスポイントと通信できない。 （つづき）	● 画面右下のタスクトレイにまたはが表示されている場合は、下記の手順を行ってください。 ・が表示されているときは、IP アドレスなどが正しく取得できなかった可能性があります。をクリックし、[サポート] をクリックして [修復] をクリックしてください。 上記を行ってもが表示される場合は、ネットワークの各設定を確認してください。 ・が表示されている場合は、接続中です。そのまましばらくお待ちください。 の表示が長く続く場合、下記の手順を行ってください。 ① をクリックし、[ワイヤレスネットワークの表示]をクリックする。 ② 接続するアクセスポイントをクリックし、[切断]をクリックする、 ③ 再度、接続するアクセスポイントをクリックし、[接続]をクリックする。 ● ネットワーク接続の画面にネットワークブリッジが作成されていませんか？ネットワークブリッジを使用しない場合は削除してください。
無線 LAN のアクセスポイントとの通信が切れる。	● IEEE 802.1X 規格の認証システムを採用していないネットワーク環境の場合は、下記の手順に従って、[このネットワークで IEEE 802.1X を有効にする] にチェックマークが付いていないことを確認してください。 ① [ネットワーク接続]画面を開く（➔98ページ「ワイヤレスネットワーク接続」の手順①）。 ② [ワイヤレスネットワーク接続]を右クリックし、[プロパティ] - [ワイヤレスネットワーク]をクリックする。 ③ [優先ネットワーク]から接続するネットワーク名をクリックし、[プロパティ]をクリックする。 ④ [認証]をクリックし、[このネットワークでIEEE 802.1X認証を有効にする]にチェックマークが付いていないことを確認する。
無線 LAN の接続が切れる。	● （➔103 ページ「周辺機器を接続する」の「LAN の通信速度が極端に遅くなる。」）

■ 周辺機器を接続する

ドライバーのインストール中にエラーが発生する。	● カードや周辺機器のドライバーをインストールする場合は、OS に対応していることをご確認ください。未対応のドライバーを使用すると、誤動作につながる場合があります。ドライバーについては、周辺機器の製造元にお問い合わせください。
周辺機器が動作しない。	● ドライバーをインストールしてください。 ● 機器の製造元にお問い合わせください。 ● スタンバイ・休止状態からリジュームした後、マウスやモデム、カードなどが正しく動作しないことがあります。その場合はパソコンを再起動するか、機器を再度初期化してください。 ● デバイスマネージャで ! が表示される場合は、機器を抜き挿ししてください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。 ● 機器の中には、パソコンが取り付け／取り外しを認識しなかったり、正常に動作しなかったりするものがあります。次の操作を行ってください。 ① [スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ]をクリックする。 ② 該当の機器を選択し、[電源の管理]の[電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする]のチェックマークを外す。（この項目がない場合もあります。） ● USB 機器が動作しない場合は、USB 機器を接続し直すか、別の USB ポートに接続してください。
接続しているマウスが動作しない。	● マウスの接続を確認してください。 ● マウスに対応するドライバーをインストールしてください。 それでもマウスが動作しない場合は、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「無効」にしてください。（➔75 ページ）

■ 周辺機器を接続する

USB フロッピーディスクドライブが、起動ドライブとして動作しない。	● パナソニック製 USB フロッピーディスクドライブ（CF-VFDU03U）（別売り）のみお使いいただけます。 ● フロッピーディスクドライブを、直接パソコンの USB ポートに接続してください。USB ハブなどの USB ポートを経由して接続しないでください。パソコンの USB ポートにすでに接続している場合は、別の USB ポートに接続してみてください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「USB ポート」と「レガシー USB」を「有効」に設定してください。（➔78 ページ） ● セットアップユーティリティの「起動」メニューで、「起動オプション #1」を「USB フロッピー」に設定してください。（➔79 ページ） ● パソコンの電源を切り、USB フロッピーディスクドライブを接続後、パソコンを再起動してください。
RAM モジュールが認識されない。	● RAM モジュールを正しく取り付けてください。 ● 仕様に合った RAM モジュールをお使いください。（➔44 ページ） ● セットアップユーティリティの「情報」メニューをご確認ください（➔74 ページ）。RAM モジュールが認識されていない場合は、パソコンの電源を切り、取り付け直してください。
割り込み要求（IRQ）、I/O ポートアドレスなどのアドレスマップがわからない。	● 現在のアドレスマップを確認するには、[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア] - [デバイスマネージャ] - [表示] - [リソース（種類別）] をクリックしてください。
シリアルコネクターに接続している機器が動作しない。	● 接続を確認してください。 ● 機器のドライバーは働いていますか？詳しくは機器の取扱説明書をご覧ください。 ● 同時に 2 個のマウスを使わないでください。 ● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、「フラットパッド」を「無効」に設定してください。（➔75 ページ） ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、[シリアルポート設定] サブメニューの「シリアルポート A」または「シリアルポート B」を「自動」に設定してください。（➔77 ページ） ● 使用できる I/O と IRQ は、機器により異なります。動作しないときは、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、シリアルポート A の「 I/O」と「IRQ」の設定を変更してみてください。

■ 周辺機器を接続する

印刷できない。	● プリンターの接続を確認してください。 ● プリンターの電源を入れてください。 ● プリンターはオンラインになっていますか？ ● 用紙がなかったり、つまったりしていませんか？ ● プリンターの電源を入れてパソコンに接続後、パソコンを再起動してください。 ● プリンターがネットワーク経由で接続されている場合には、ネットワークの接続を確認してください。
LAN の通信速度が極端に遅くなる。 PC カードを経由したデータ通信が正常に動作しない（IEEE1394 を使って DV カメラに書き出す場合に動画が乱れるなど）。	● これらの問題は、CPU の省電力機能によって、パフォーマンスが低下するために起きる場合があります。コンピューターの管理者の権限で Windows にログオン後、次の操作を行ってください。 ① [スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックし、[c:¥util¥cpupower¥Setup.exe]と入力して [OK]をクリックする。 画面の指示に従ってください。 ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [CPU省電力設定]をクリックする。 ③ [パフォーマンス優先] をクリックし [OK]をクリックして、[はい]をクリックする。 パソコンが再起動します。 ● それでも問題が解決しない場合は、[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [電源オプション] - [電源設定] をクリックし、[電源設定] で [常にオン] を選び、[OK] をクリックしてください。 ・この操作は、CPU の省電力機能が原因で発生する現象には効果がありますが、その他の原因による現象には効果がありません（例：ビデオ再生など、CPU に高い負荷がかかりノイズが発生する場合など）。 ・この操作を行うと、バッテリーでの駆動時間が多少短くなります。通常は、[CPU 省電力設定] を [バッテリー優先（Windows XP 標準）] に、また [電源オプション] の [電源設定] を [ポータブル／ラップトップ] に戻しておくことをお勧めします。

■ フラットパッド／タッチパネル

カーソルが動かない。	● 外部マウスを正しく接続してください。 ● キーボードを操作してパソコンを再起動してください。 （ 、 U の順に押し、 R で [再起動] を選んでください。） ● キーボードで操作できない場合は、「応答がない」をご覧ください。（➔105 ページ）
フラットパッドを使って入力できない。	● セットアップユーティリティの「メイン」メニューで「フラットパッド」を「有効」に設定してください。（➔75 ページ） ● マウスドライバーの種類によっては、フラットパッドが使えないことがあります。詳しくはマウスの取扱説明書をご覧ください。
付属のスタイラスで正しい位置を指定できない。	● タッチパネルの補正（キャリブレーション）を実行してください。（➔7 ページ）

■ PCカード／エクスプレスカード（エクスプレスカードスロット内蔵モデルのみ）

カードが使えない。	● カードは正しく挿入されていますか？ ● 規格にあったカードをお使いください。 ● カードまたはその他の機器のドライバーをインストールした後、パソコンを再起動してください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「PC カードスロット」と「ExpressCard スロット」を「有効」に設定してください。（➔78 ページ） ● カードの取扱説明書をご覧になるか、カードの製造元にお問い合わせください。 ● カードを挿入し直してください。（➔36 ページ） ● OS に対応したドライバーをお使いください。

■ SDメモリーカード

SD メモリーカードが使えない。	● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「SD スロット」を「有効」に設定してください。（➔78 ページ）

■ スマートカード（スマートカードスロット内蔵モデルのみ）

スマートカードが使えない。	● スマートカードを正しく挿入してください。 ● セットアップユーティリティの「詳細」メニューで、「スマートカード」を「有効」に設定してください。（➔78 ページ） ● スマートカードをお使いになる場合には、専用のソフトウェアをご用意ください。

■ ユーザーの簡易切り替え機能

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない。	● ユーザーの簡易切り替え機能を使用して別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。 • アプリケーションソフトが正しく動作しない。 • **Fn** とのキーの組み合わせが動作しない。 • 画面の設定ができない。 • シリアルマウスが動作しない。 • < 無線 LAN 内蔵モデルのみ > 無線 LAN が使えない。 このような場合は、ユーザーの簡易切り替え機能を使わずにすべてのユーザーをログオフした後、再度ログオンして操作してください。それでも正しく動作しない場合は、パソコンを再起動してください。

■ その他

応答がない。	● **Ctrl**+**Shift**+**Esc** を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 入力待ち画面（起動時のパスワード入力画面など）が別のウィンドウで隠れていませんか？ **Alt**+**Tab** で表示されている画面を確認してください。 ● 電源スイッチを 4 秒以上スライドしてパソコンの電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、下記のメニューでそのアプリケーションソフトをいったん削除してから再度インストールしてください。 [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除]

パソコンの使用状態を確認する

PC 情報ビューアーを使うと、パソコンの使用状態を確認することができます。BIOS のバージョンやインストールされているアプリケーションソフトやドライバーの名称などが確認でき、お問い合わせ時にも役立ちます。

お知らせ

- 本機では、ハードディスクドライブの管理情報などがハードディスク内に定期的に記録されます。記録されるデータ量は、1回あたり最大1024バイトです。これらの情報は、万が一、ハードディスクが故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報をネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。この機能を無効にするには、PC情報ビューアーの[ハードディスク使用状況]の[管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする]のチェックボックスにチェックマークを付けて[OK]をクリックしてください。
- コンピューターの管理者の権限でログオンしないと、一部「未検出」と表示される情報があります。
- 実行中は、PC情報ビューアーの画面は、常に手前に表示されます。

1 **[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー] - [PC情報ビューアー] をクリックする。**

2 **項目をクリックして、その項目の詳細情報を表示する。**

■ 情報をテキストファイルで保存する

① 保存したい情報を表示する。
② [保存]をクリックする。
③ ファイル保存する範囲を選択し、[OK]をクリックする。
④ 情報を保存するフォルダーを選択し、ファイル名を入力して[保存]をクリックする。

- [管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする]にチェックマークが付いていない場合、あらかじめ記録されているハードディスクドライブの管理情報などの履歴も保存されます。

■ 画面のコピーを画像ファイルに保存する

① 保存したい画面を表示する。
② Ctrl+Alt+F7を押す。
③ メッセージが表示されたら [OK]をクリックする。
「マイドキュメント」フォルダーに画面の画像ファイルが保存されます。
  - 次の操作で保存することもできます。
    [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC 情報ビューアー] - [画面コピー] をクリックする。

お知らせ

- 画像は256色のビットマップファイルです。
- 拡張デスクトップモード（➔48ページ）を使用しているときは、プライマリーデバイス側に表示している画面が保存されます。
- 工場出荷時は、コピーするキーの組み合わせは**Ctrl**+**Alt**+**F7**になっています。次の手順で変更することもできます。
  ① コンピューターの管理者の権限でWindowsにログオンする。
  ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [PC情報ビューアー]をクリックする。
  ③ [画面コピー]を右クリックし、[プロパティ] - [ショートカット]をクリックする。
  ④ [ショートカットキー]をクリックし、ショートカットに使うキーを押す。
  ⑤ [OK]をクリックする。

- Microsoft とそのロゴ、Windows 、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Core、Centrino は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。
- SDHC ロゴは商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- PS/2® は International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Bluetooth™ は、その権利者が所有している商標であり、パナソニック株式会社はライセンスに基づき使用しています。
- 本書に記載の製品名、ブランド名などは、各社の商標または登録商標です。

PCJ0258B_XP/T